

平成25年度保護者アンケートの結果

【目的】

平成12年の教育改革開始から10年以上が経過したが、この間品川区では、学校選択制、外部評価制度、学力定着度調査、小中一貫教育等に取り組んできた。また、学校も独自の特色づくりを主体的にすすめてきている。これらの改革に関して保護者からみた学校の状況を把握することにより、品川区の教育の一層の充実を図る。

【対象者】

品川区立小・中学校および小中一貫校の全児童・生徒の保護者

【調査期間】

平成26年3月12日（水）から平成26年3月19日（水）まで

【調査方法】

質問紙調査（無記名）

【配布数および回答率等】

配布数 18,135 回答数 15,022（内、有効回答数 14,935） 回答率 82.8%

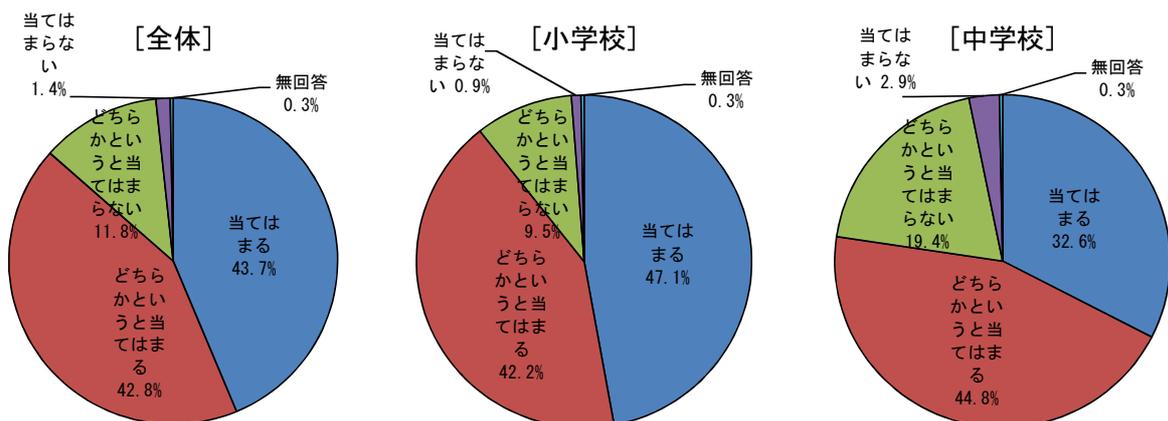
設問1 お子さんの性別 【結果省略】

設問2 お子さんの学年 【結果省略】

設問3 アンケート調査に回答していただいている方 【結果省略】

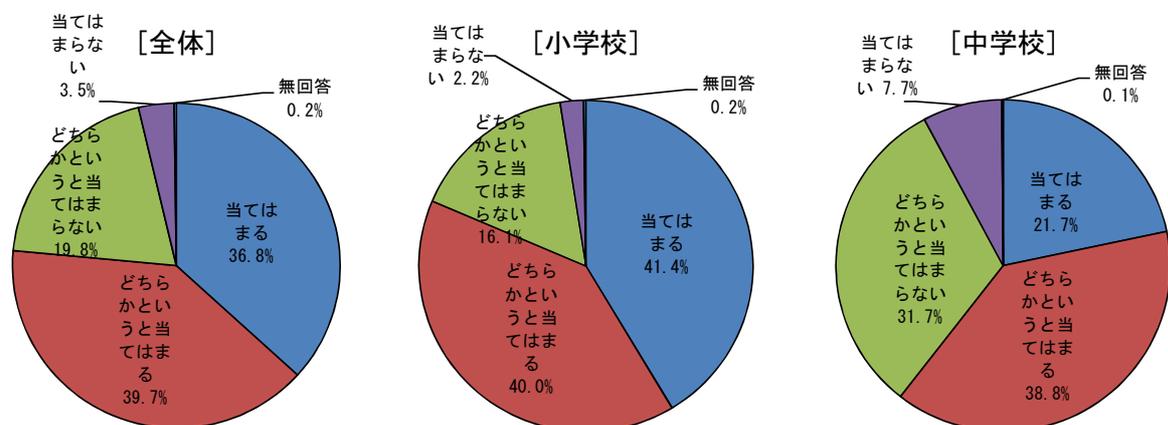
[A. 家庭における教育方針とお子さんの生活・学習について]

設問4 早寝・早起き・朝ごはん等の生活習慣を身に付けさせている。



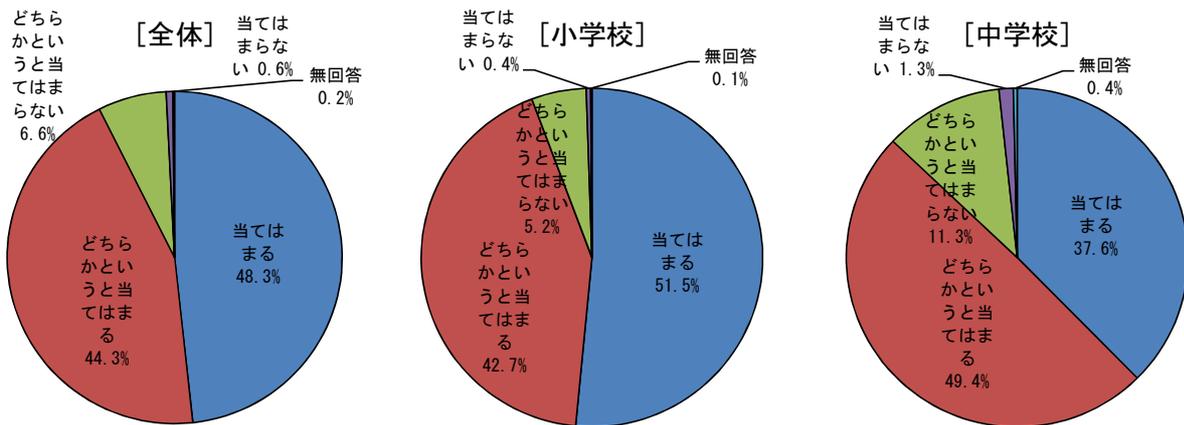
早寝・早起き・朝ごはん等の生活習慣を身に付けさせている家庭は、小学校では89.3%、中学校では77.4%である。

設問5 家庭学習の習慣を付けている。



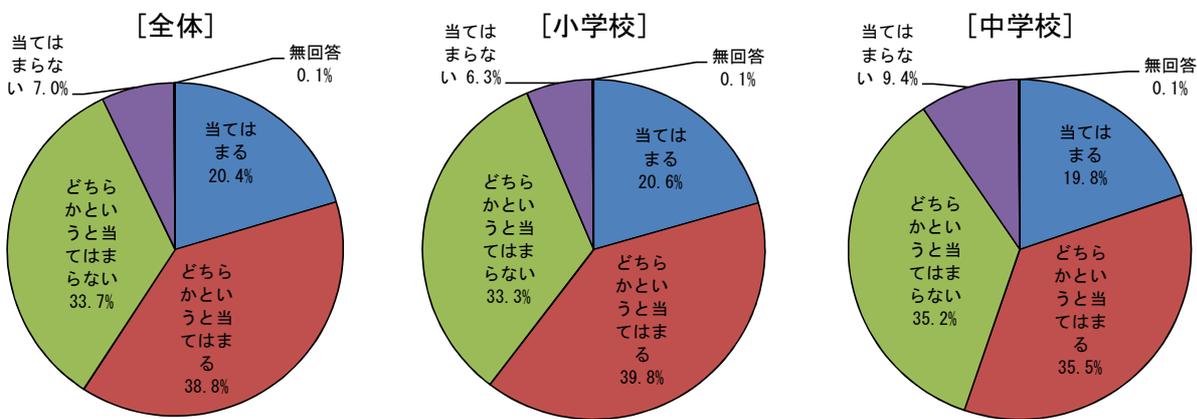
家庭学習の習慣を身に付けさせている家庭は、小学校では81.4%、中学校では60.5%である。

設問6 子どもと学校の出来事等について、話をする心を掛けている。



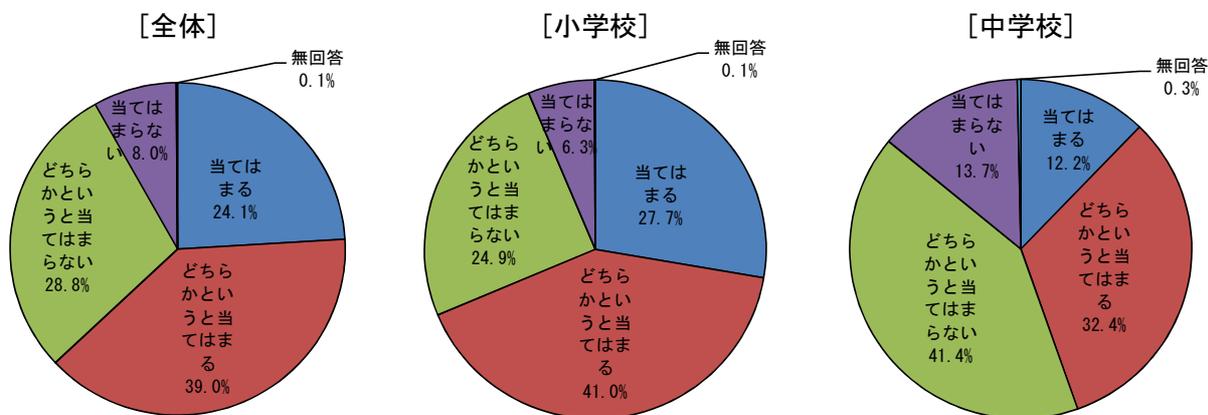
子どもと学校の出来事等について、話をする心を掛けている家庭は、小学校では94.2%、中学校では87.0%である。

設問7 子どもに家事を分担させている。



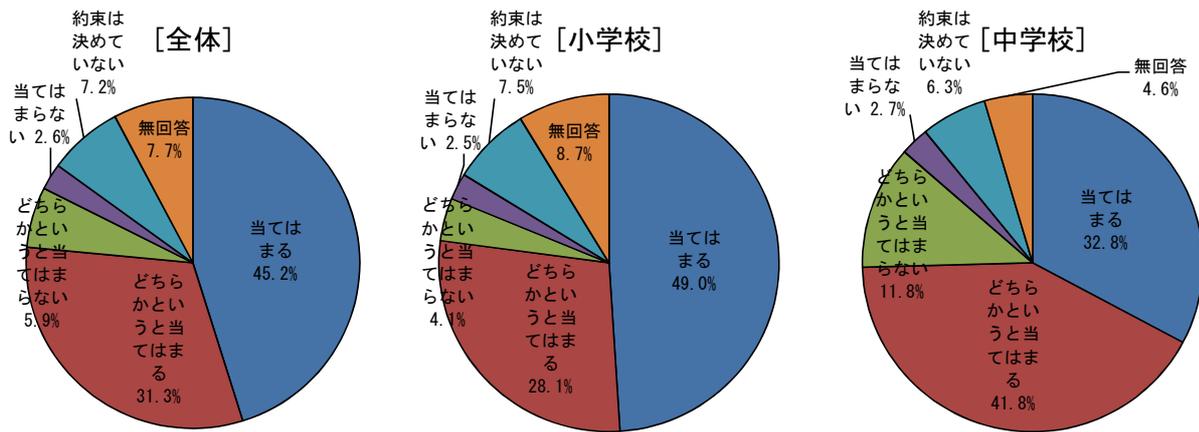
子どもに家事を分担させている家庭は、小学校では60.4%、中学校では55.3%である。

設問8 子どもとテレビ視聴やゲームの遊びの時間を決めてしている。



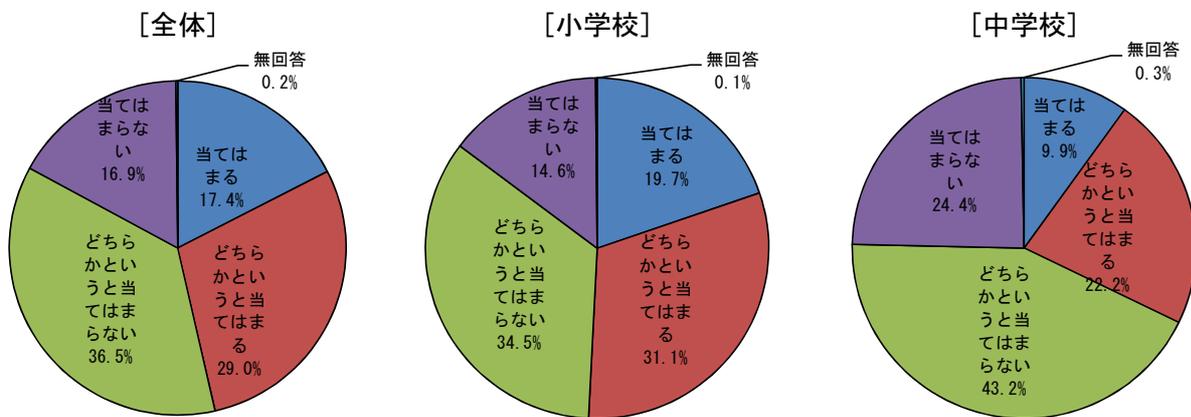
子どもとテレビ視聴やゲームの遊びの時間を決めてしている家庭は、小学校では68.7%、中学校では44.6%である。

設問9 子どもに携帯電話やスマートフォンの使い方について約束を守らせている。



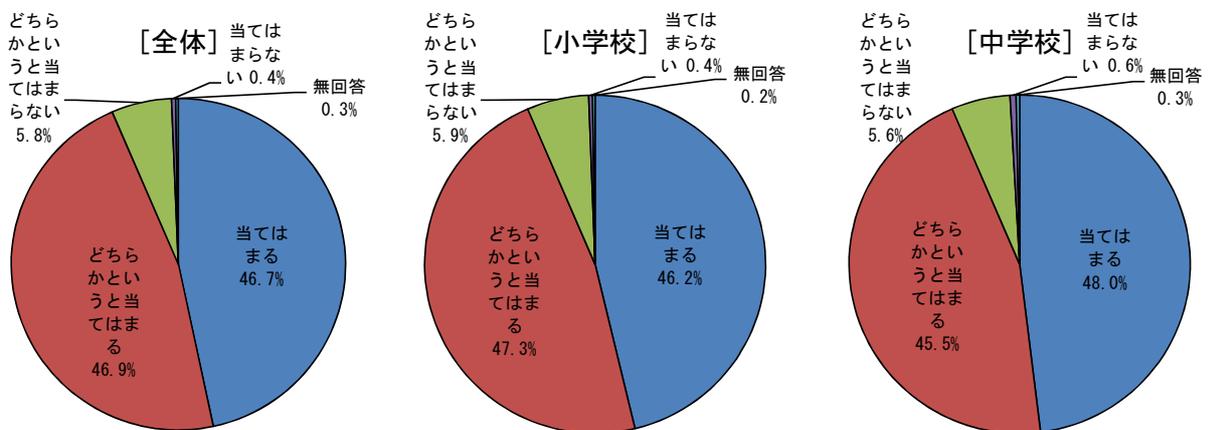
子どもに携帯電話やスマートフォンの使い方について約束を守らせている家庭は、小学校では77.1%、中学校では74.6%である。また、約束を決めていない家庭は、小学校では7.5%、中学校では6.3%である。

設問10 家庭で読書の習慣付けを心掛けている。



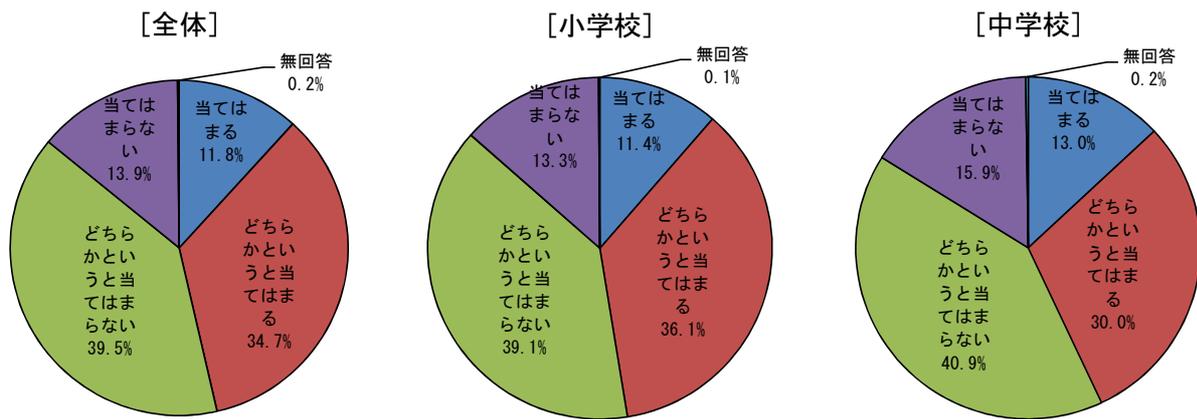
家庭で読書の習慣付けを心掛けている家庭は、小学校では50.8%、中学校では32.1%である。

設問11 子どもが基本的な挨拶をしっかりとできているようにしている。



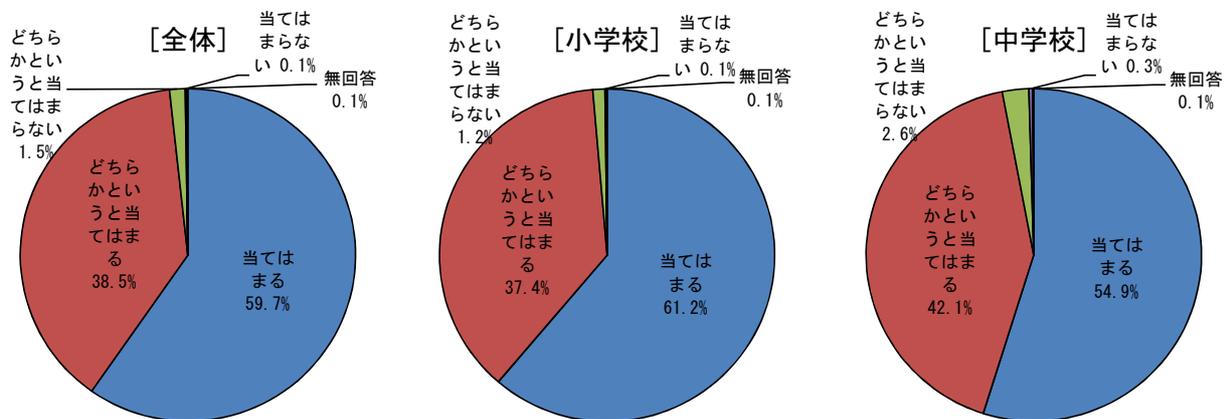
子どもが基本的な挨拶をしっかりとできているようにしている家庭は、小学校・中学校ともに90%を超える。

設問12 子どもに地域行事やボランティア活動に積極的に参加させている。



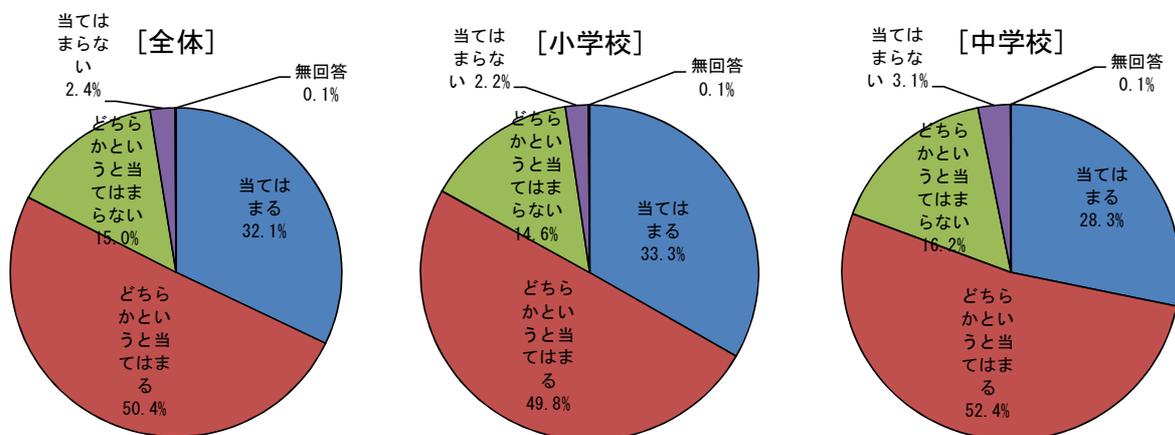
子どもに地域行事やボランティア活動に積極的に参加させている家庭は、小学校・中学校ともに50%を下回る。

設問13 子どもに学校や公共のルールを守らせている。



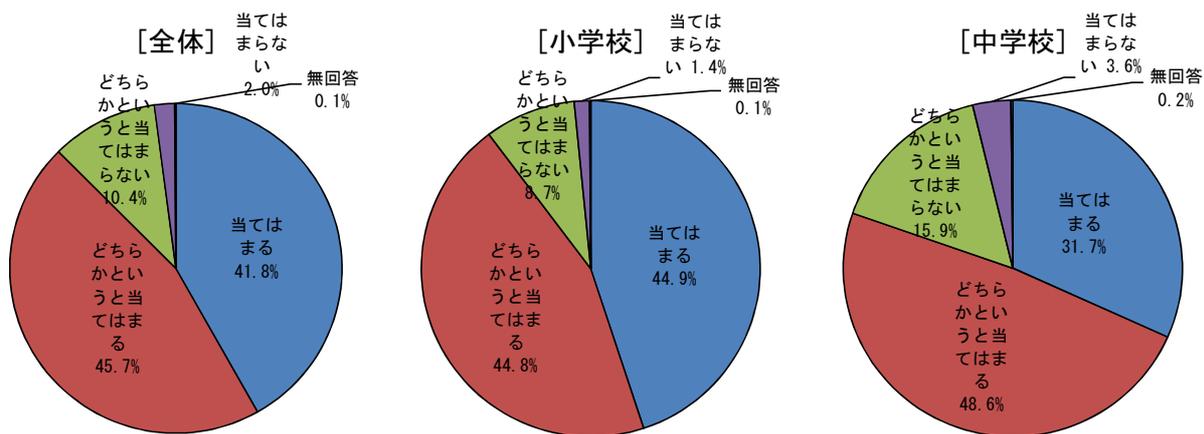
子どもに学校や公共のルールを守らせている家庭は、小学校・中学校ともに95%を超える。

設問14 いじめの問題について、家庭で話し合う機会をもつようにしている。



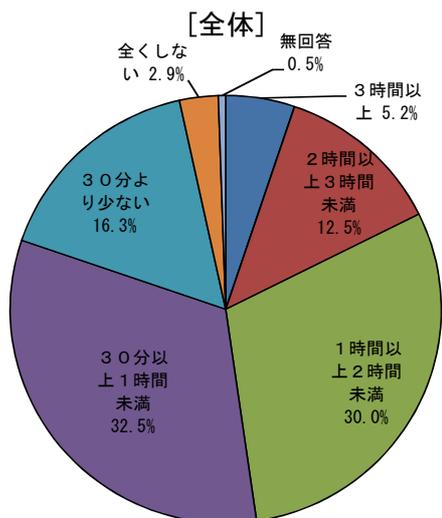
いじめの問題について、家庭で話し合う機会をもつようにしている家庭は、小学校・中学校ともに80%を超える。

設問15 自転車の乗り方等、交通安全について家庭で話し合う機会をもつようになっている。



自転車の乗り方等、交通安全について家庭で話し合う機会をもつようになっている家庭は、小学校では89.7%、中学校では80.3%である。

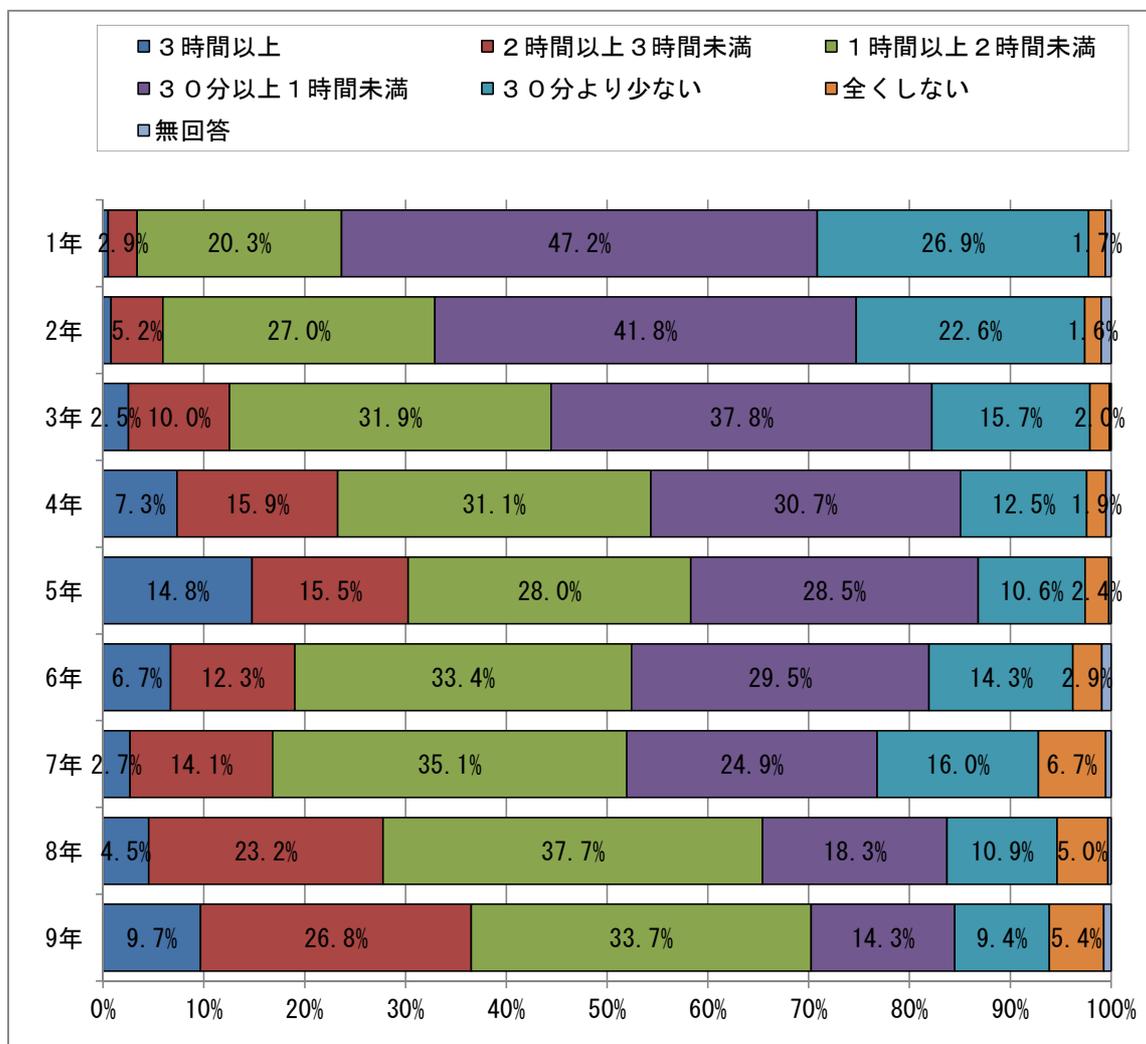
設問16 学校がある日の一日の家庭での学習時間(塾や家庭教師を含む)は平均してどのくらいですか。



学校がある日に、家庭で全く勉強をしない子どもの割合は、

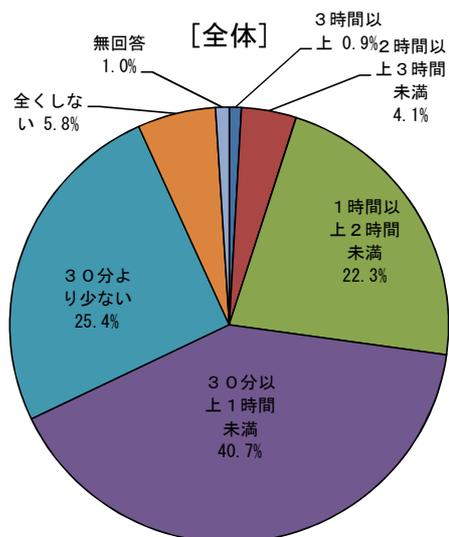
全体	2.9%
1年	1.7%
2年	1.6%
3年	2.0%
4年	1.9%
5年	2.4%
6年	2.9%
7年	6.7%
8年	5.0%
9年	5.4%

小学生に比べ、中学生は勉強をしない割合が高い。



数値の表記のない項目は、1%未満である。

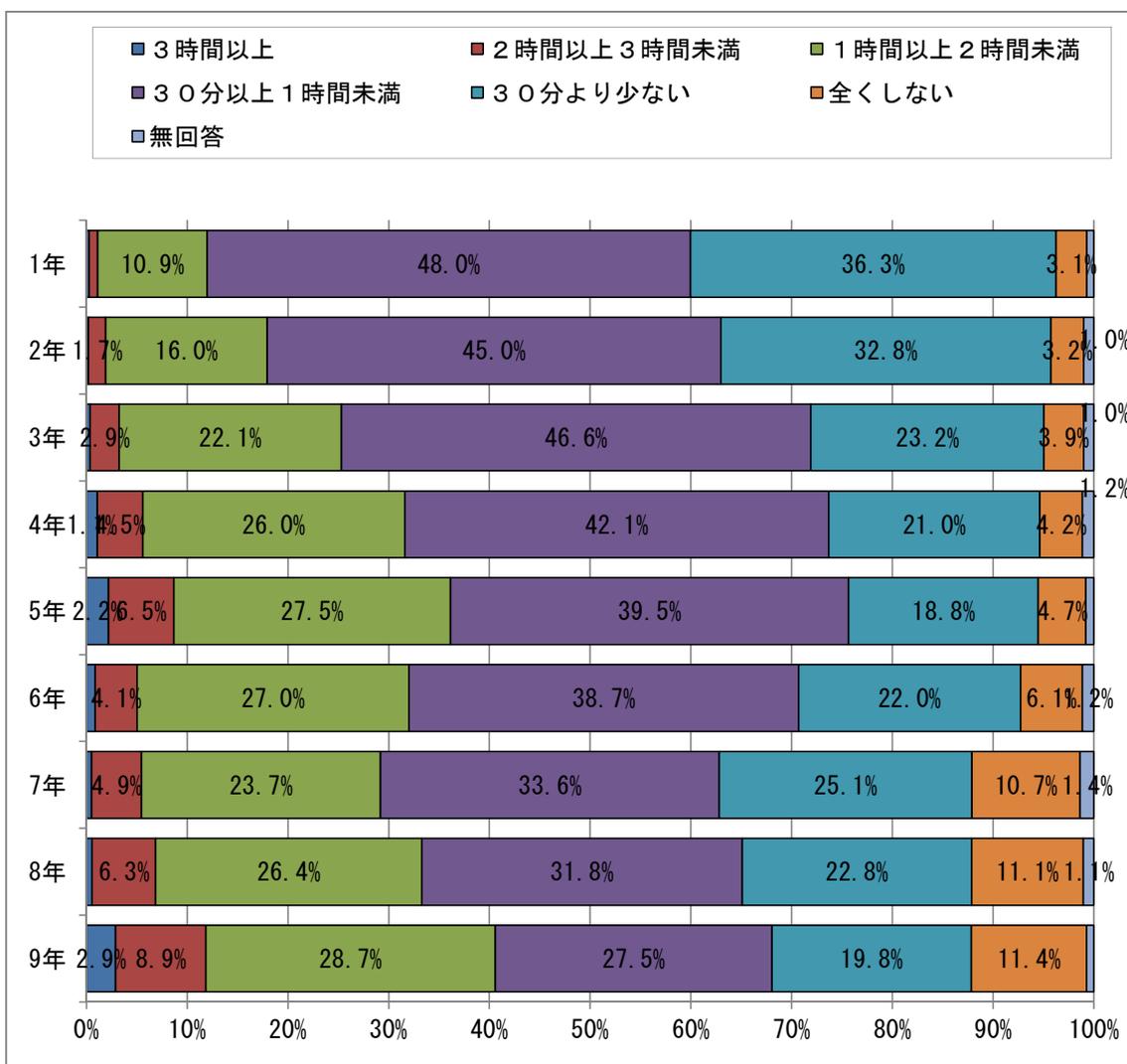
設問17 その内、塾や家庭教師を含まない家庭での学習時間は平均してどのくらいですか。



学校がある日に、（塾や家庭教師を含まない）家庭で全く勉強をしない子どもの割合は、

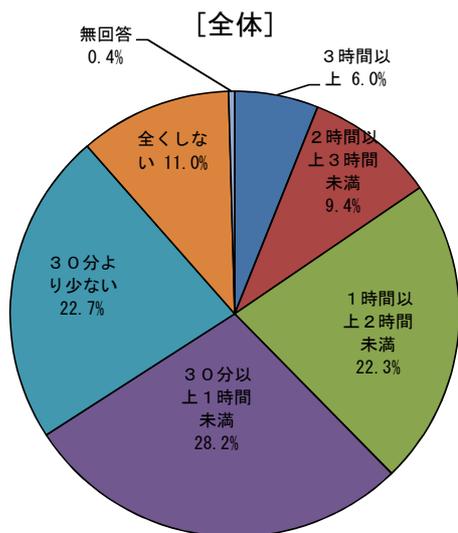
全体	5.8%
1年	3.1%
2年	3.2%
3年	3.9%
4年	4.2%
5年	4.7%
6年	6.1%
7年	10.7%
8年	11.1%
9年	11.4%

小学生に比べ、中学生は勉強をしない割合が高い。



数値の表記のない項目は、1%未満である。

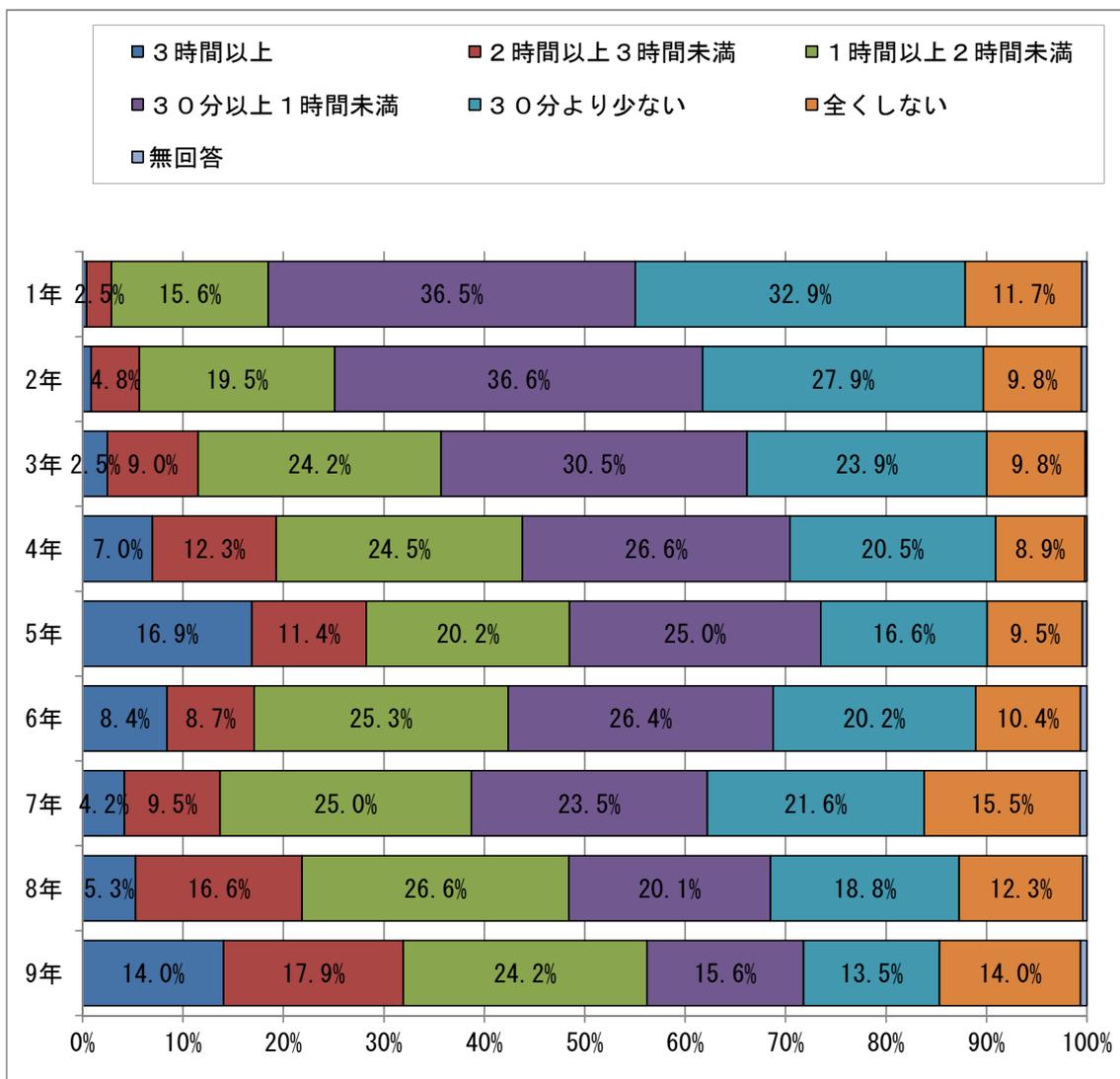
設問18 学校がない日の一日の家庭での学習時間(塾や家庭教師を含む)は平均してどのくらいですか。



学校がない日に、家庭で全く勉強をしない子どもの割合は、

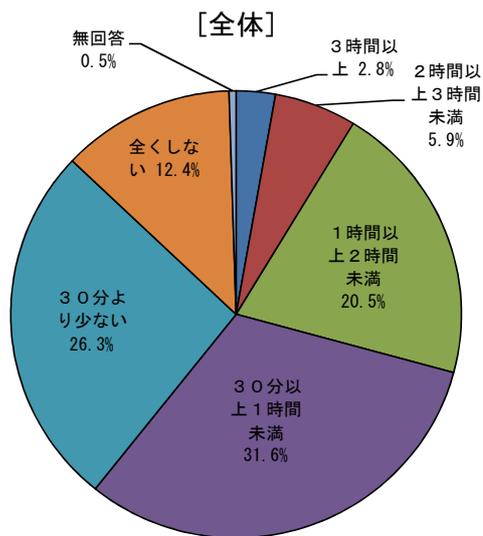
全体	11.0%
1年	11.7%
2年	9.8%
3年	9.8%
4年	8.9%
5年	9.5%
6年	10.4%
7年	15.5%
8年	12.3%
9年	14.0%

小学生に比べ、中学生は勉強をしない割合が高い。



数値の表記のない項目は、1%未満である。

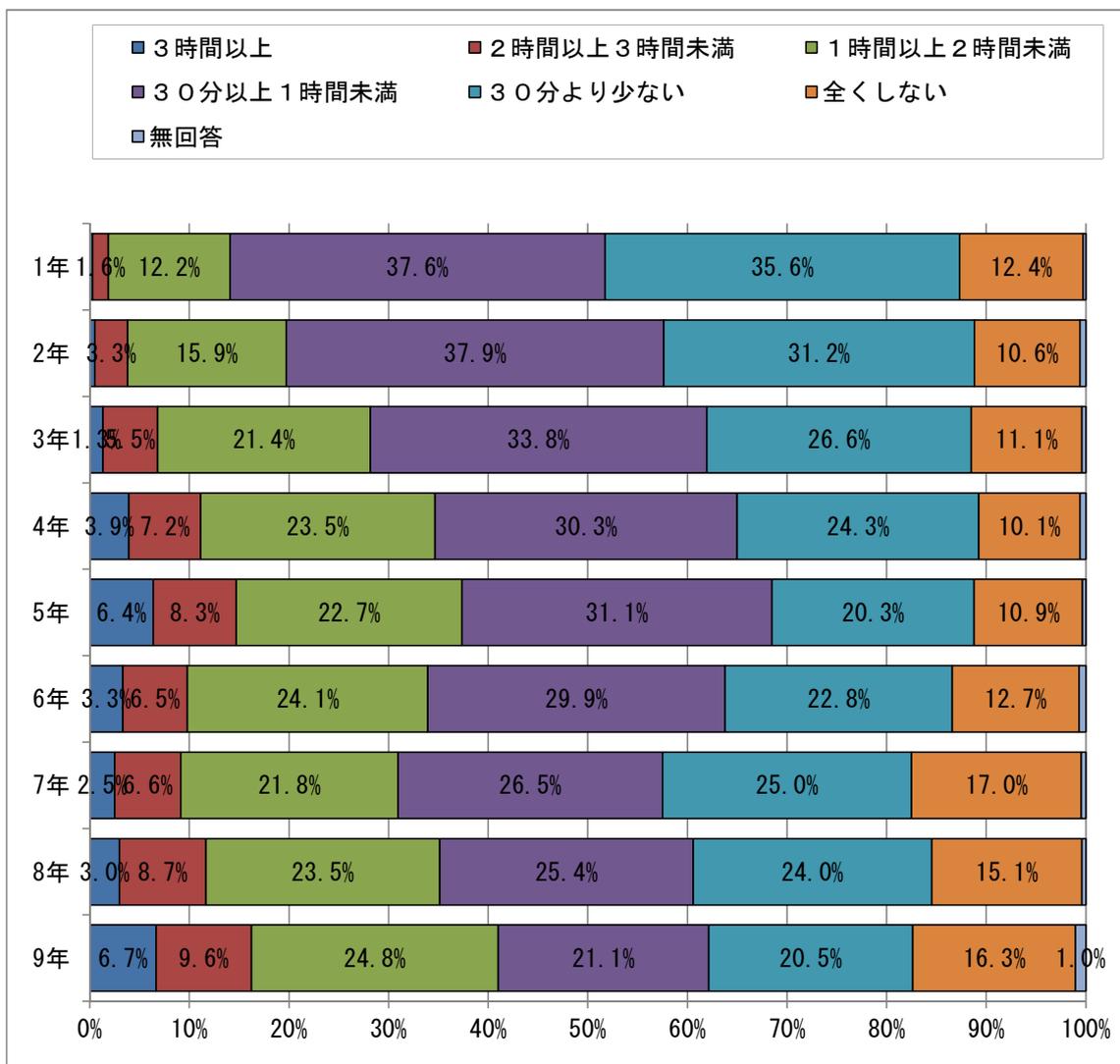
設問19 その内、塾や家庭教師を含まない家庭での学習時間は平均してどのくらいですか。



学校がない日に、（塾や家庭教師を含まない）家庭で全く勉強をしない子どもの割合は、

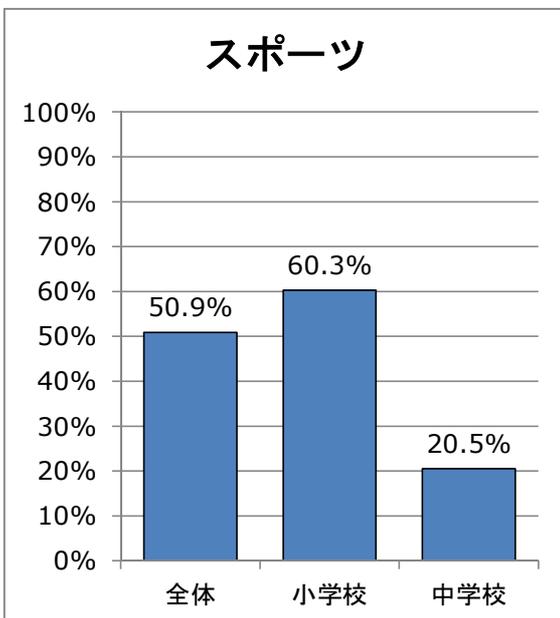
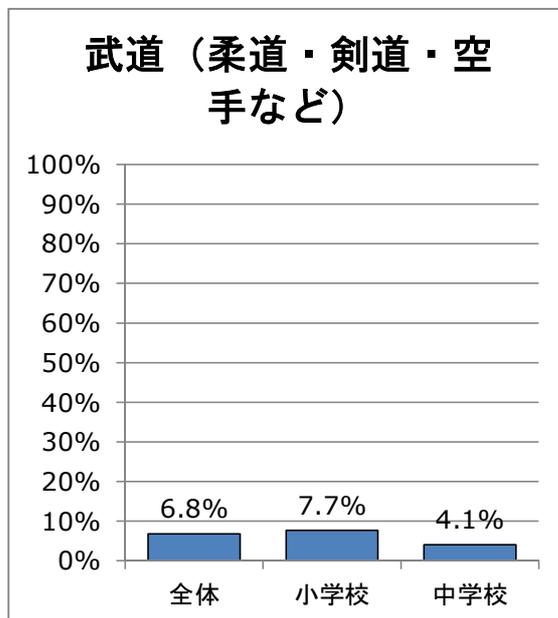
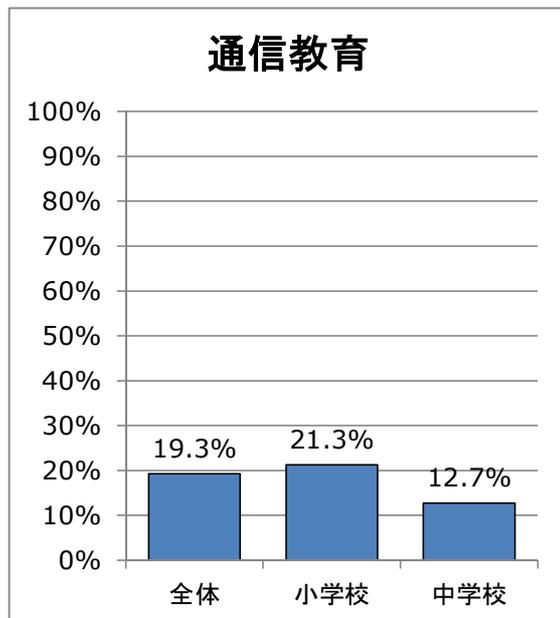
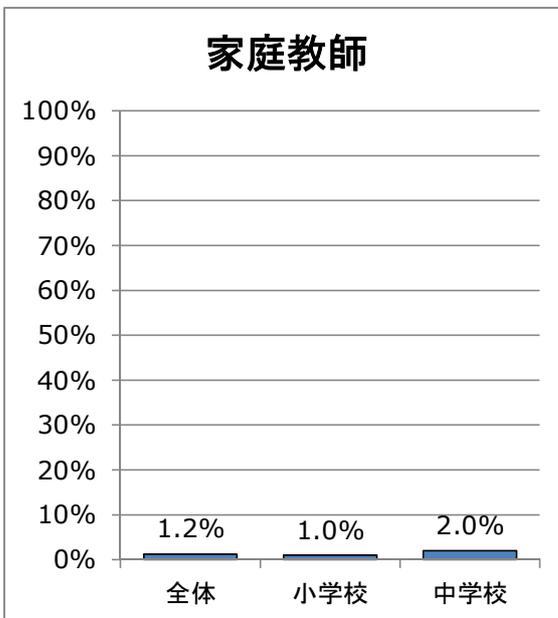
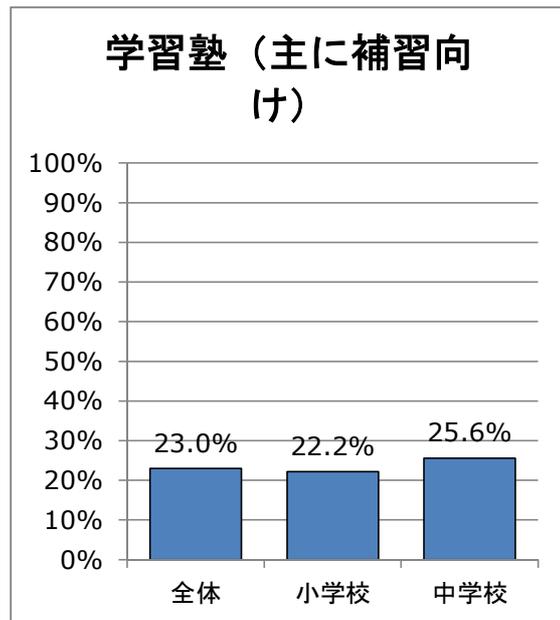
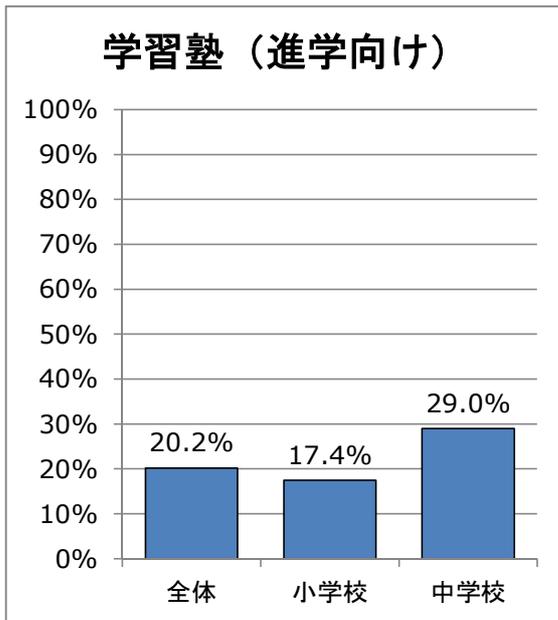
全体	12.4%	2年	10.6%	3年	11.1%
1年	12.4%	4年	10.1%	5年	10.9%
4年	10.1%	6年	12.7%	7年	17.0%
7年	17.0%	8年	15.1%	9年	16.3%

小学生に比べ、中学生は勉強をしない割合が高い。

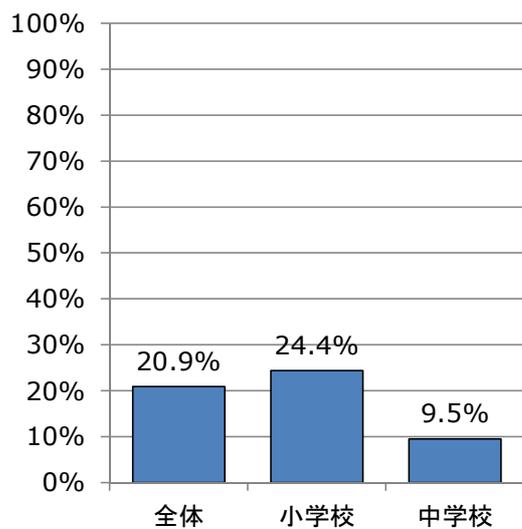


数値の表記のない項目は、1%未満である。

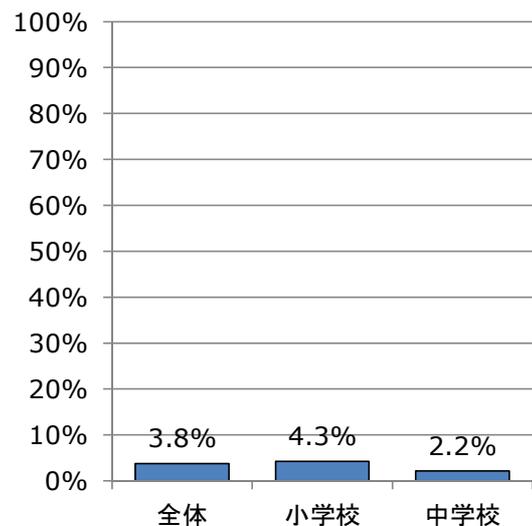
設問20 学校以外にどのような塾、習い事をしていますか。現在行っているもののすべてを選んでください。



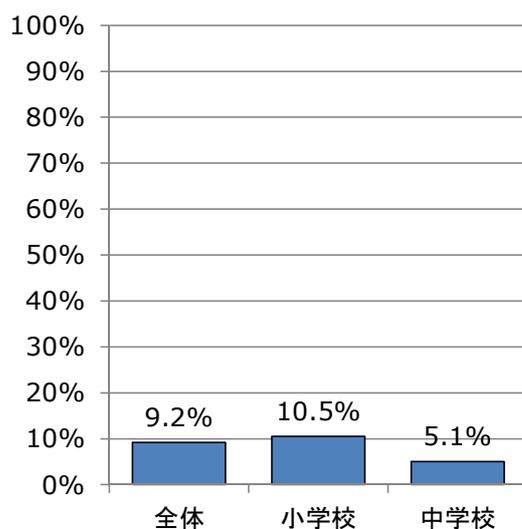
音楽関係（ピアノなど）



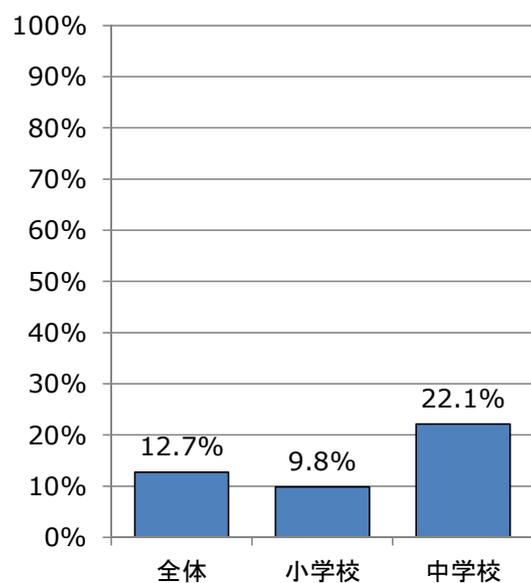
伝統文化関係（舞・華道・茶道など）



芸術関係（書道・絵画など）



なし

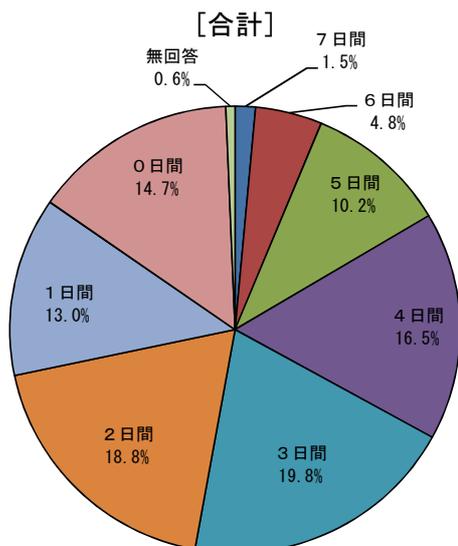


学習塾に通っている子どもの割合は、進学向け、補習向けともに全体で20%を超え、特に中学生では25%を超えている。

学校以外で習い事としてスポーツをしている子どもの割合は、小学生では60.3%、中学生では20.5%である。

塾や習い事をしていない子どもの割合は、小学生では9.8%、中学生では22.1%である。

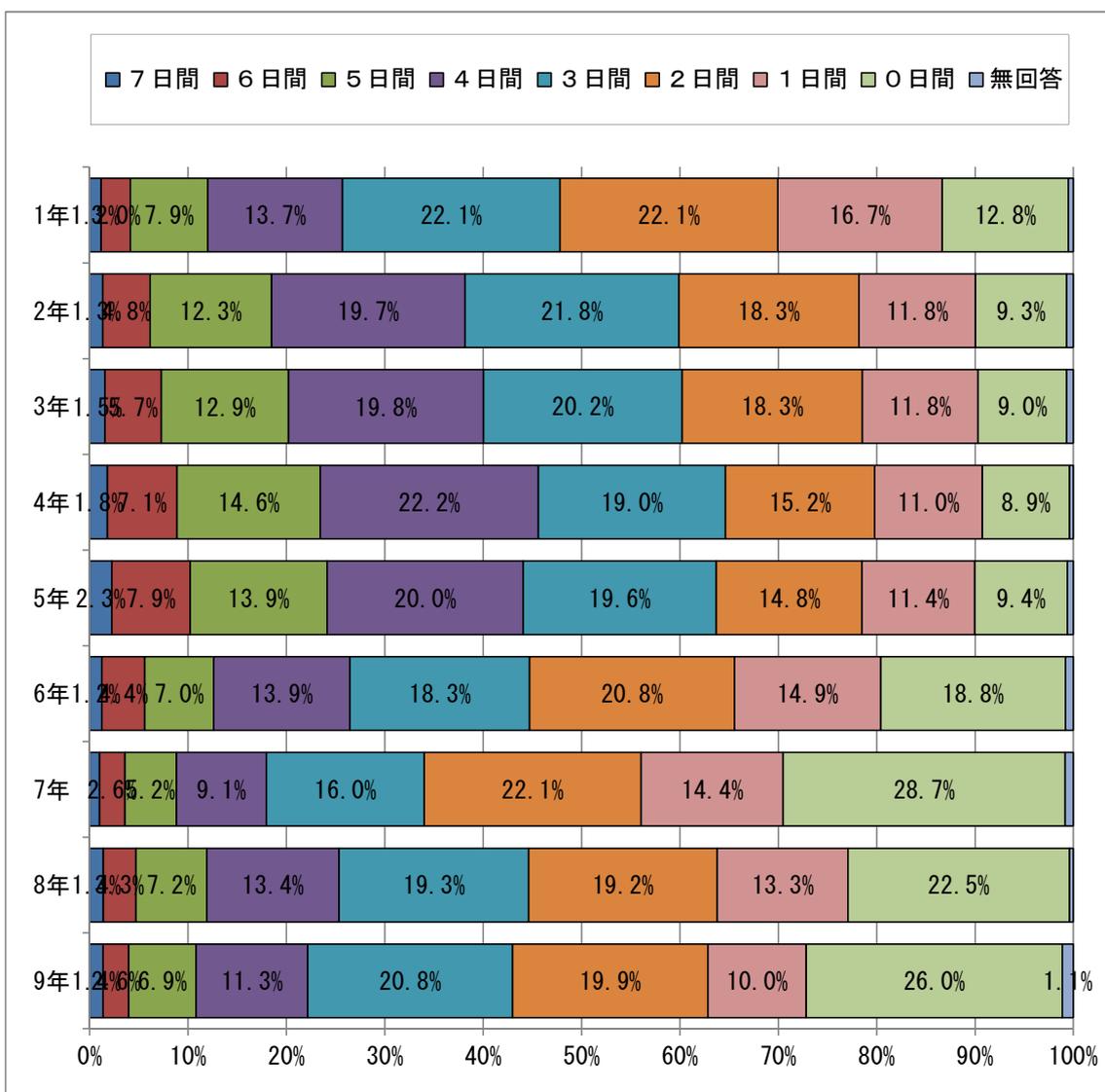
設問21 1週間のうち、塾や習い事を何日間行っていますか。



塾や習い事をしている子どもの割合は、

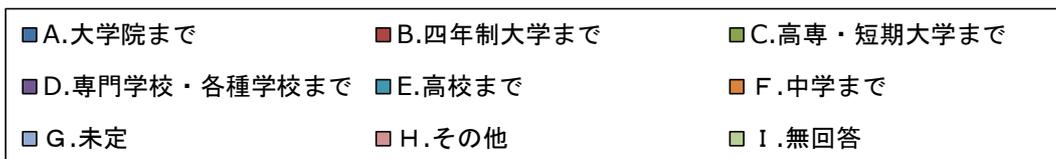
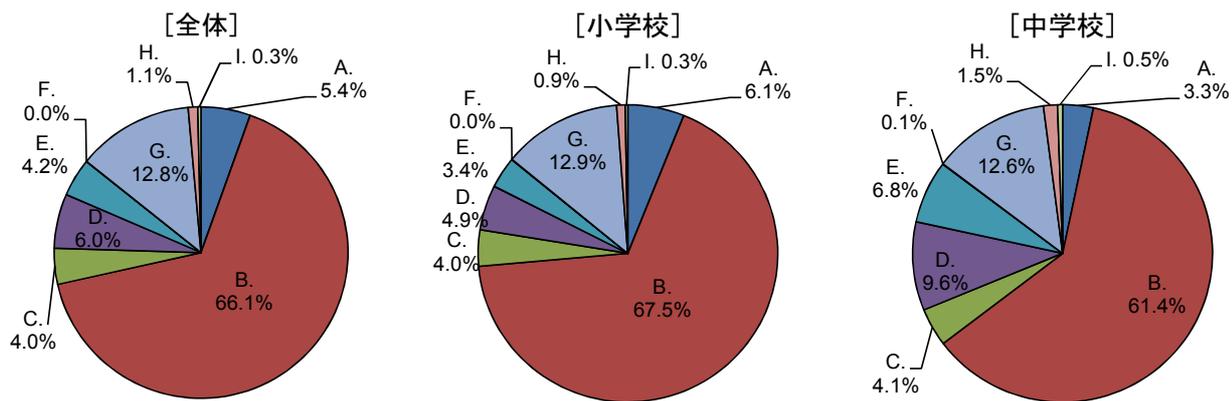
全体	84.7%
1年	86.7%
2年	90.0%
3年	90.3%
4年	90.7%
5年	90.0%
6年	80.4%
7年	70.5%
8年	77.1%
9年	72.9%

小学生に比べ、中学生は塾や習い事をしている割合が低い。また、小学生では、3日～4日行っている割合が多いのに対し、中学生では、2日～3日行っている割合が多い。



数値の表記のない項目は、1%未満である。

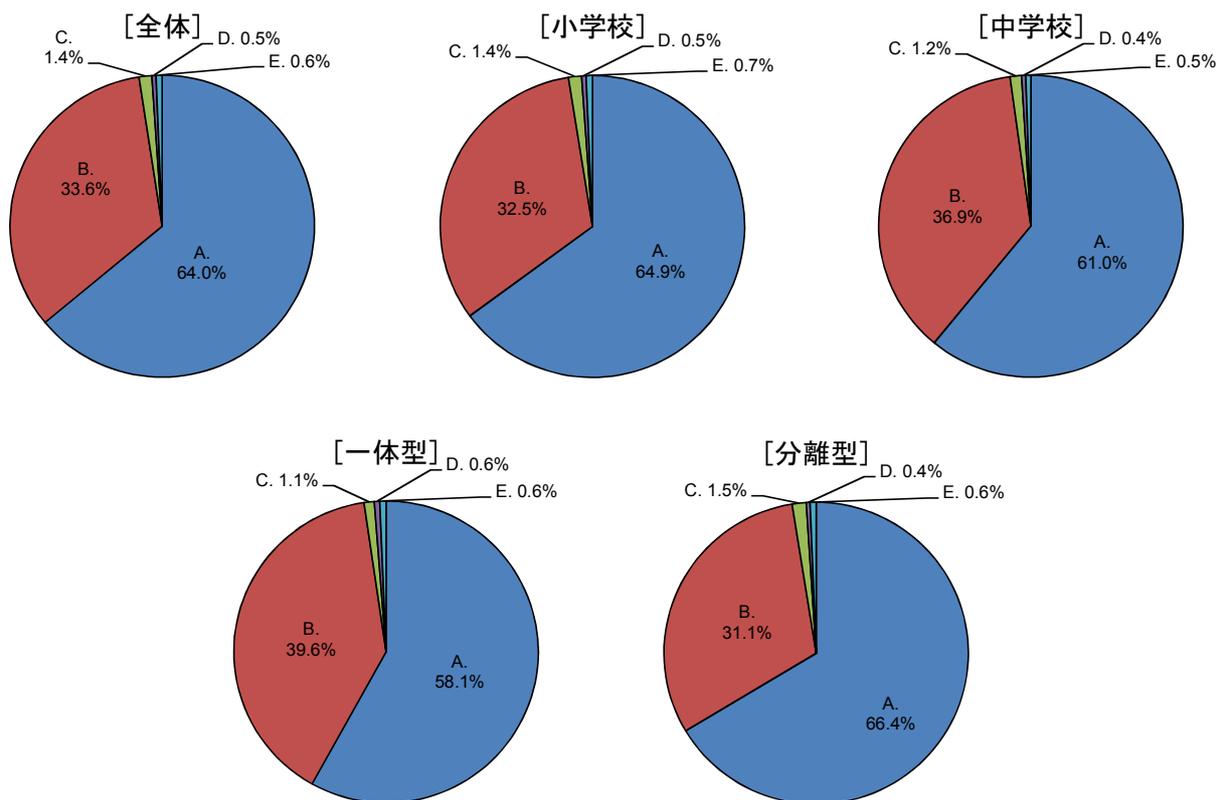
設問22 お子さんを将来どこまでの学校に進学させたいとお考えですか。



小学校では73.6%、中学校では64.7%の保護者が、四年制大学以上まで進学させたいと考えている。

[B. お子さんが通っている学校の選択について]

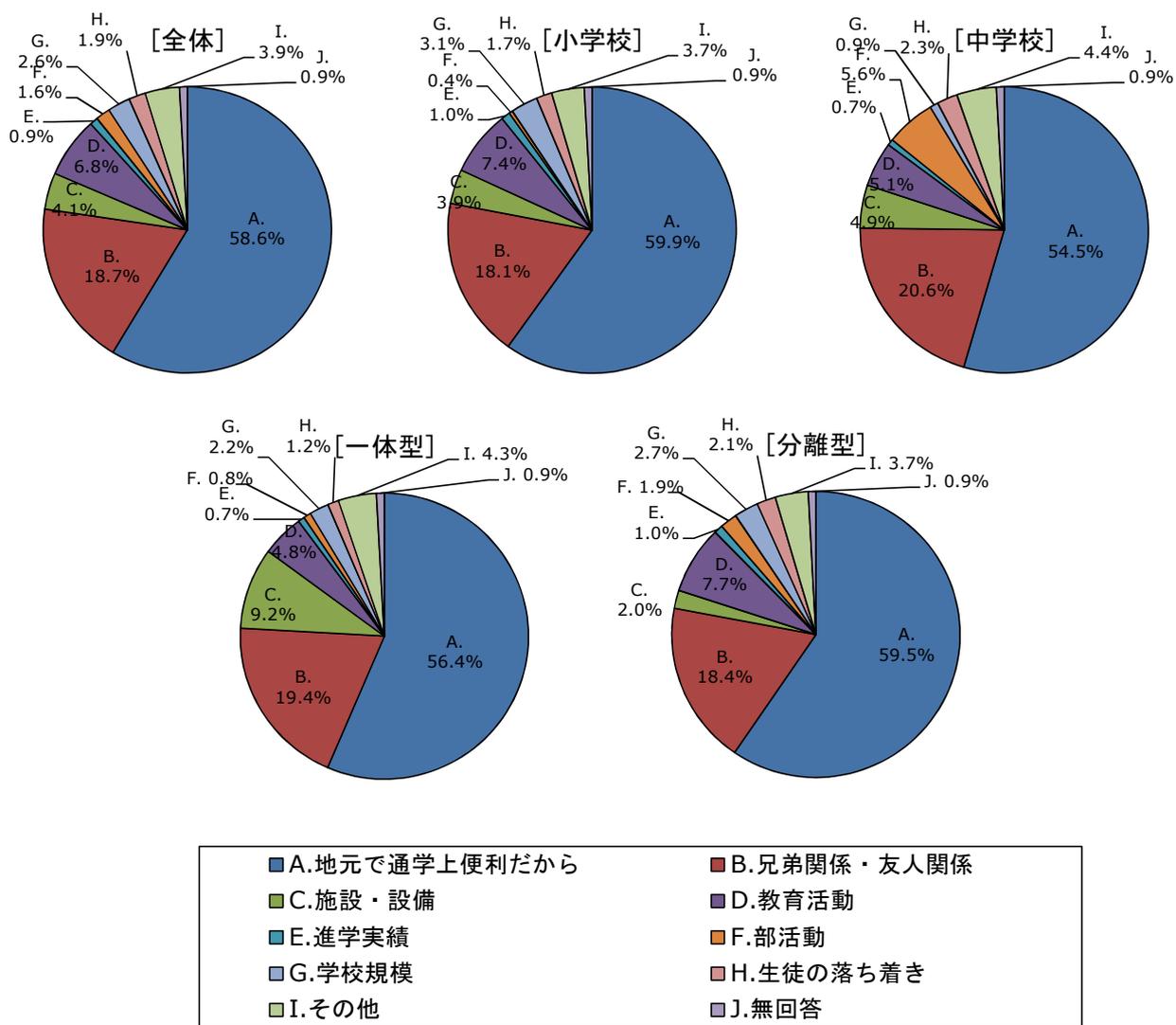
設問23 学校選択の際、指定校以外を希望申請しましたか。また、結果どこに入学しましたか。



- A. 希望申請しないで、指定校に入学した
- B. 希望申請して、希望の学校に入学した
- C. 希望申請したが抽選にはずれたため、指定校に入学した
- D. 希望申請したが抽選にはずれたため、指定校以外に入学した
- E. 無回答

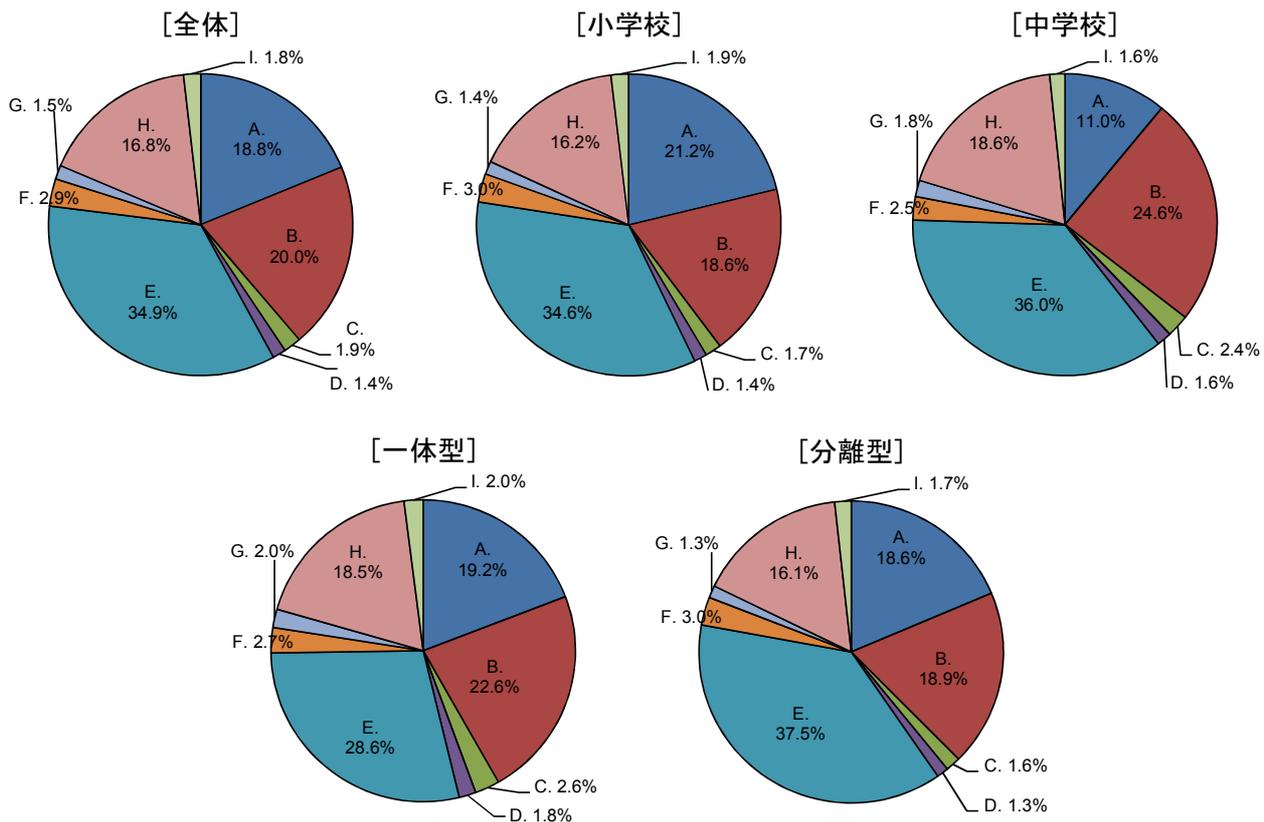
小学校・中学校ともに、学校選択制を利用して入学した割合は30%以上である。また、一体型では39.6%、分離型では31.1%が利用している。

設問24 学校を選択する場合、何を最も重視しましたか。



学校選択の理由で一番多いのは、小学校・中学校、一体型・分離型ともに「地元で通学上便利だから」、次いで「兄弟関係・友人関係」の順になっている。

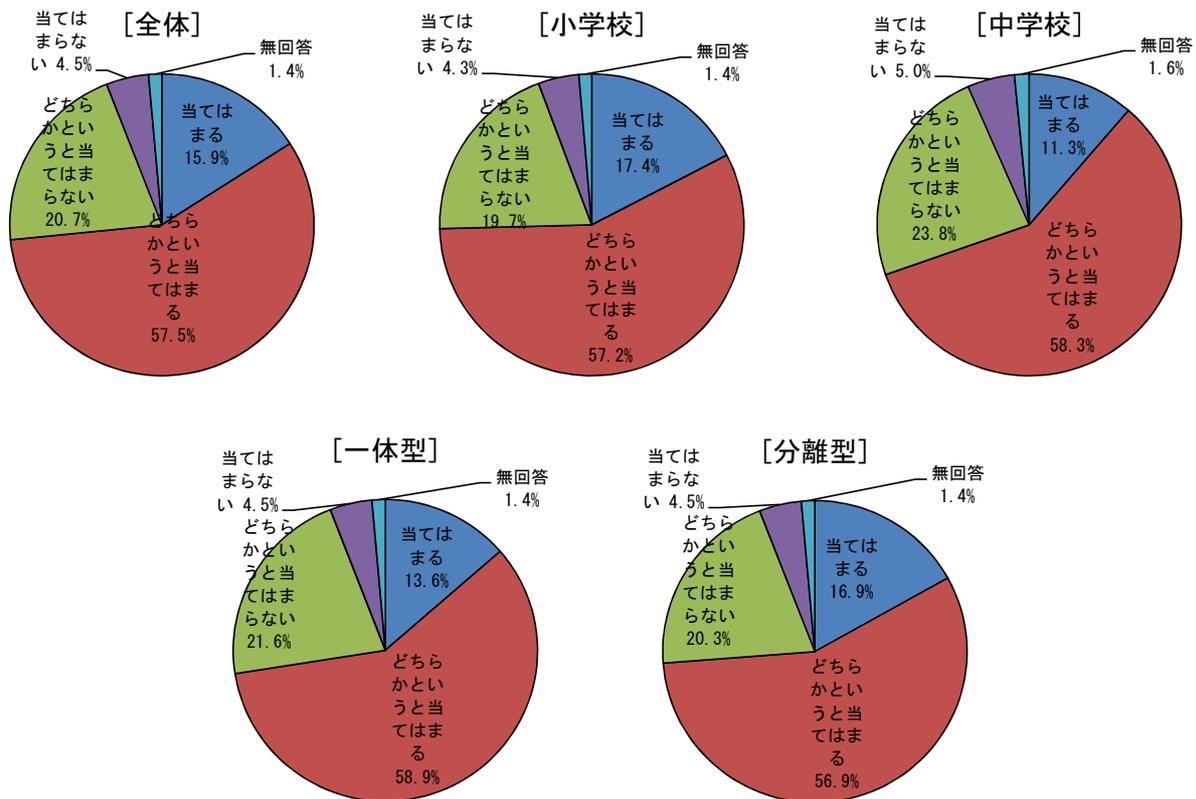
設問25 学校を選択する際に最も重視した情報は何か。



- | | |
|-----------------------|-----------------|
| ■ A.学校公開に参加して | ■ B.学校説明会に参加して |
| ■ C.教育委員会からの「学校案内」を見て | ■ D.学校パンフレットを見て |
| ■ E.兄弟・知人・友人からの情報 | ■ F.学校行事等の見学 |
| ■ G.ホームページを見て | ■ H.その他 |
| ■ I.無回答 | |

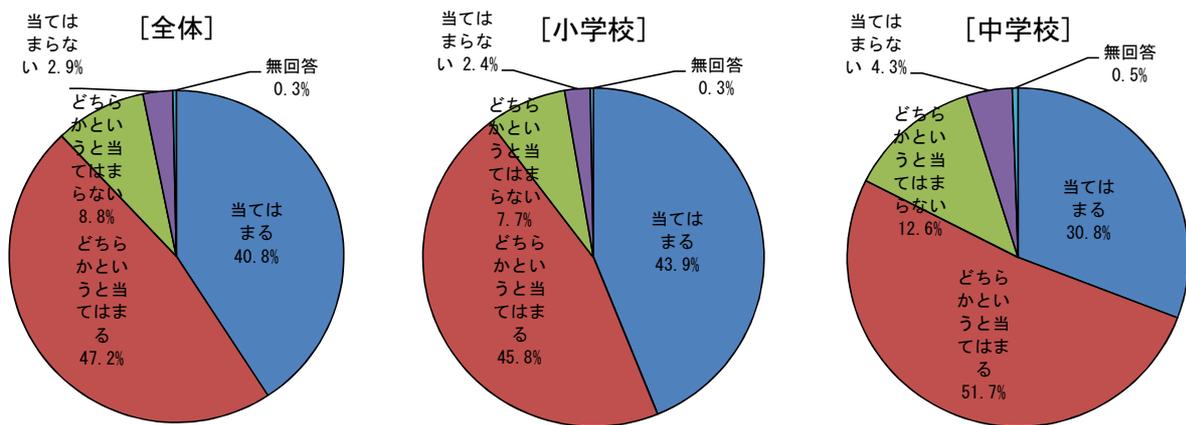
小学校・中学校、一体型・分離型ともに、学校選択をする際に最も重視した情報は「兄弟・友人・知人からの情報」で、次いで小学校は「学校公開」、中学校では「学校説明会」である。

設問26 現在公開されている学校情報は学校を選択するには十分な内容である。



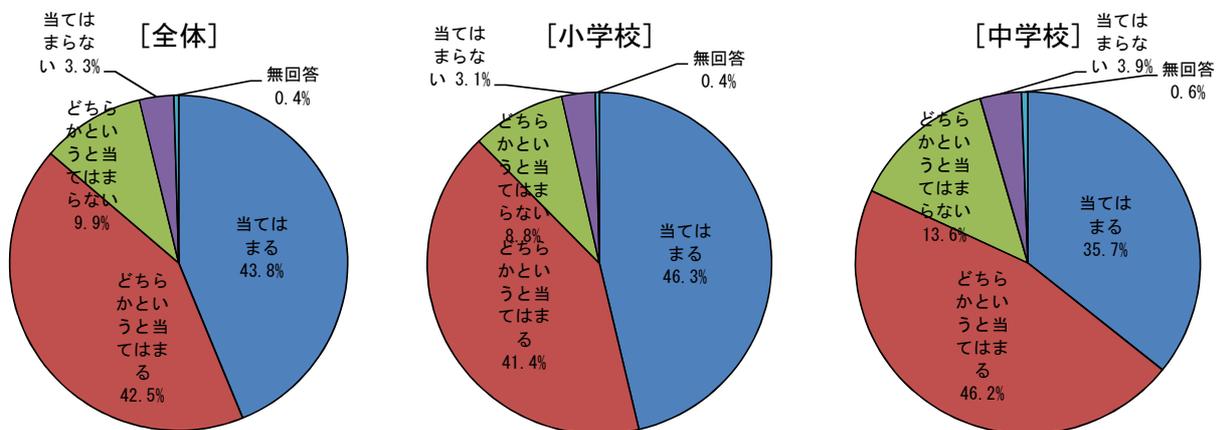
学校選択の際の情報提供への満足度は、小学校では74.6%、中学校では69.6%である。また、一体型・分離型ともに、70%以上である。

設問27 現在通っている学校に満足している。



小学校では89.7%、中学校では82.5%の保護者が、現在通っている学校に満足している。

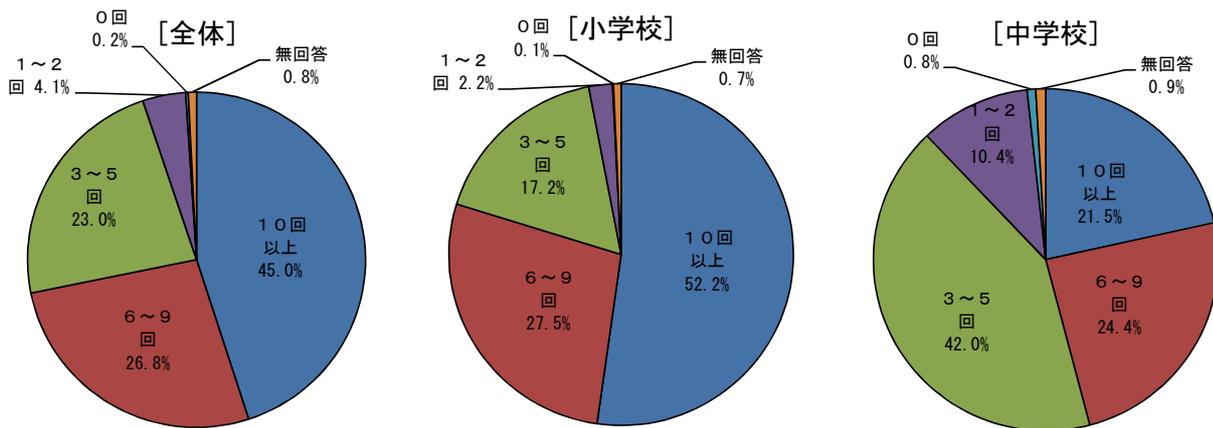
設問28 学校を選択することについて、保護者の責任を感じている。



学校を選択することに責任を感じている保護者は、小学校では87.7%、中学校では81.9%である。

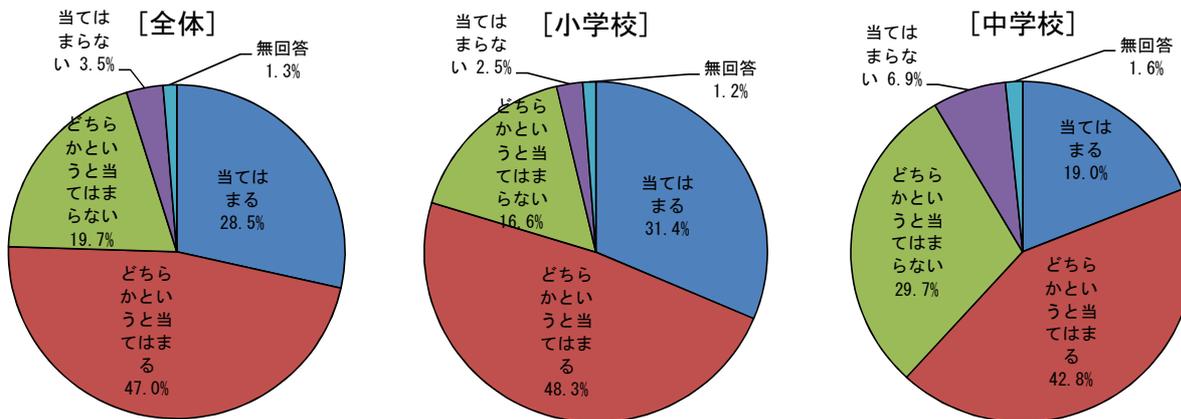
[C. 学校に対する保護者のお考えについて]

設問29 お子さんが通っている学校に、この1年間で何回くらい行きましたか。



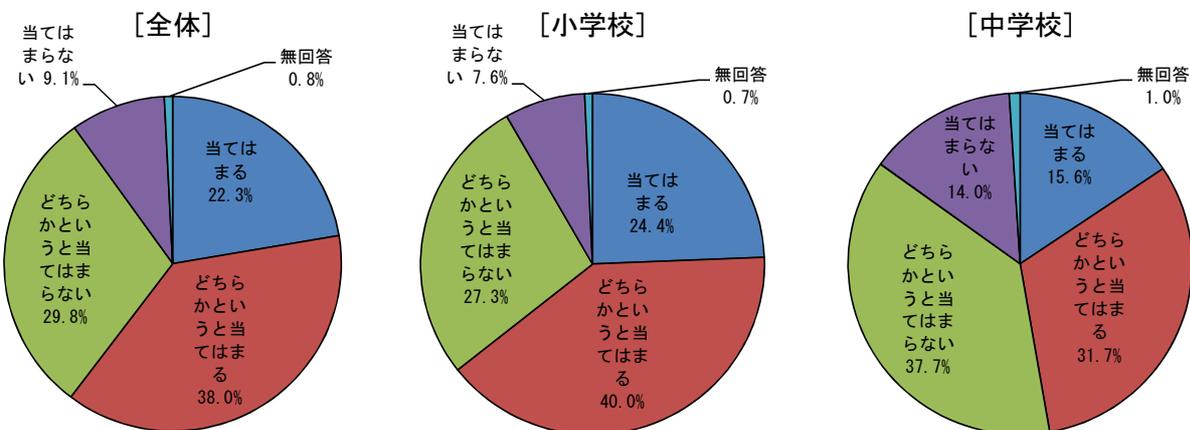
小学校の保護者が1年間に学校に行った回数で最も多いのは10回以上である。中学校では3~5回である。

設問30 学校の活動に協力してきた。



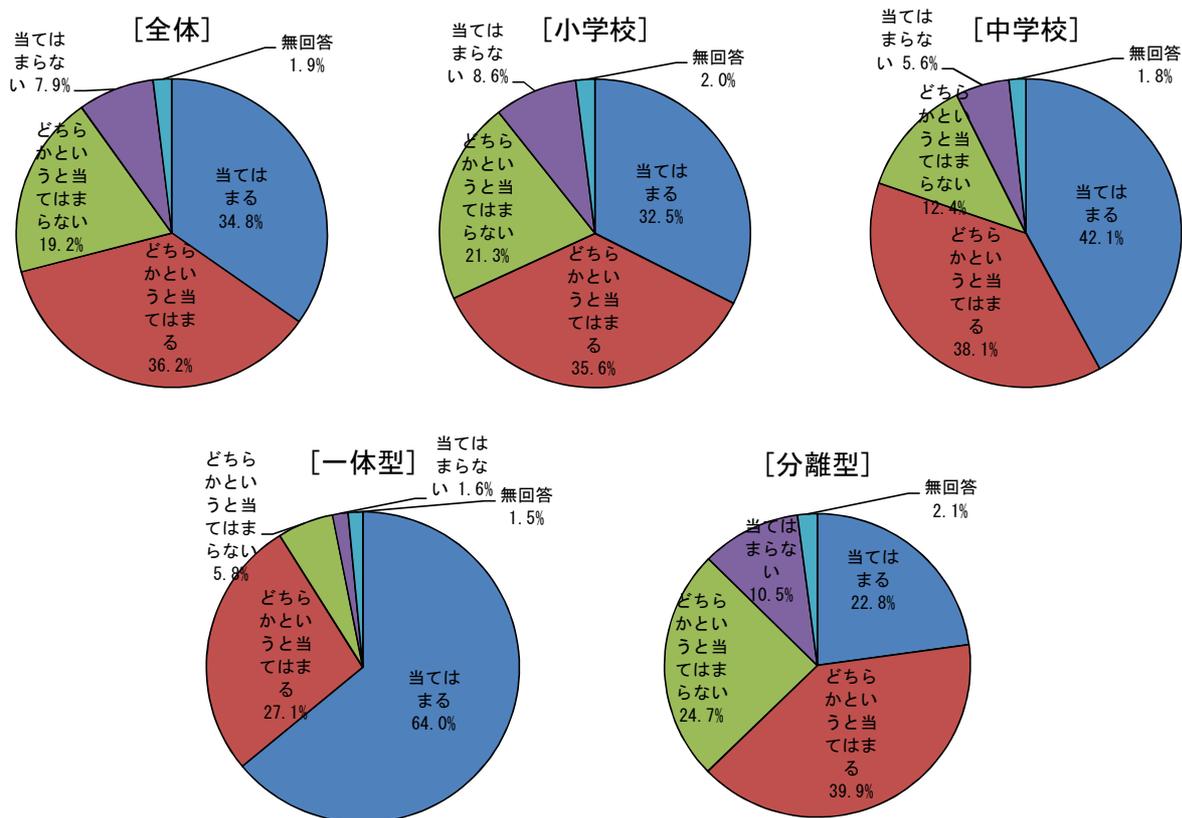
学校の活動に協力してきたと考えている保護者は、小学校では79.7%、中学校では61.8%である。

設問31 PTA活動に積極的に参加してきた。



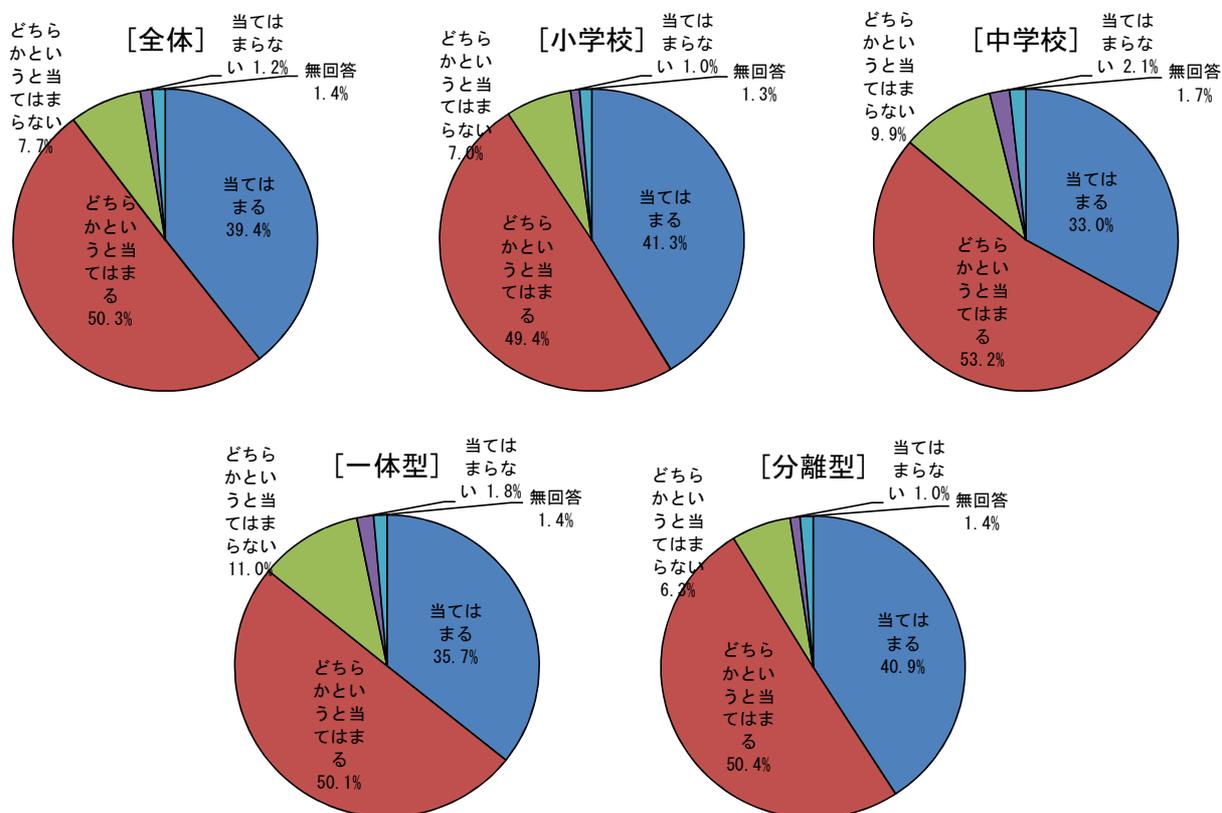
PTA活動に協力してきたと考えている保護者は、小学校では64.4%、中学校では47.3%である。

設問32 お子さんの通っている小学校(中学校)は中学校(小学校)と連携している。



小学校と中学校が連携していると感じている保護者は、全体で71.0%であり、特に中学校では80.2%、一体型では91.1%と連携を強く感じている。

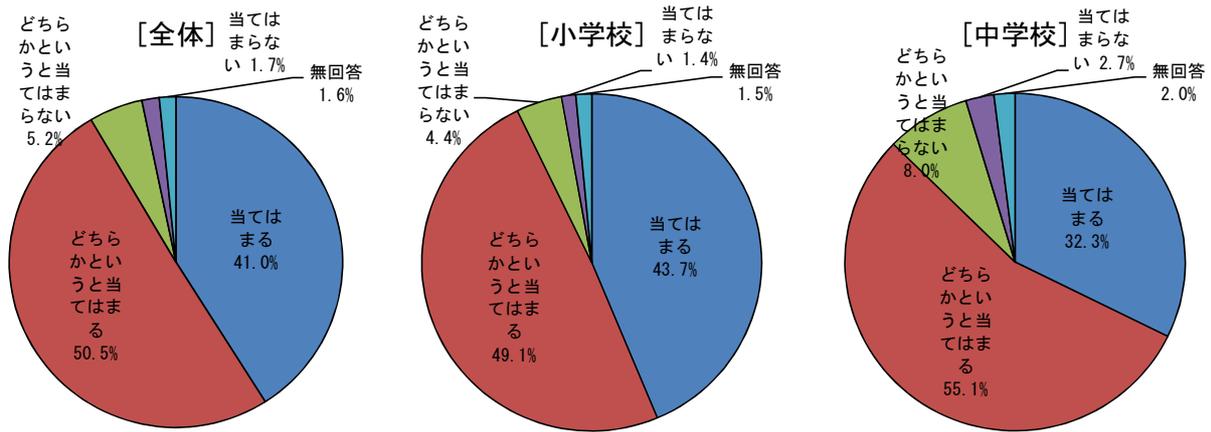
設問33 お子さんの通っている学校は、地域と連携している。



地域と連携していると感じている保護者は、全体では89.7%であり、小学校・中学校、一体型・分離型いずれも85%を超えている。

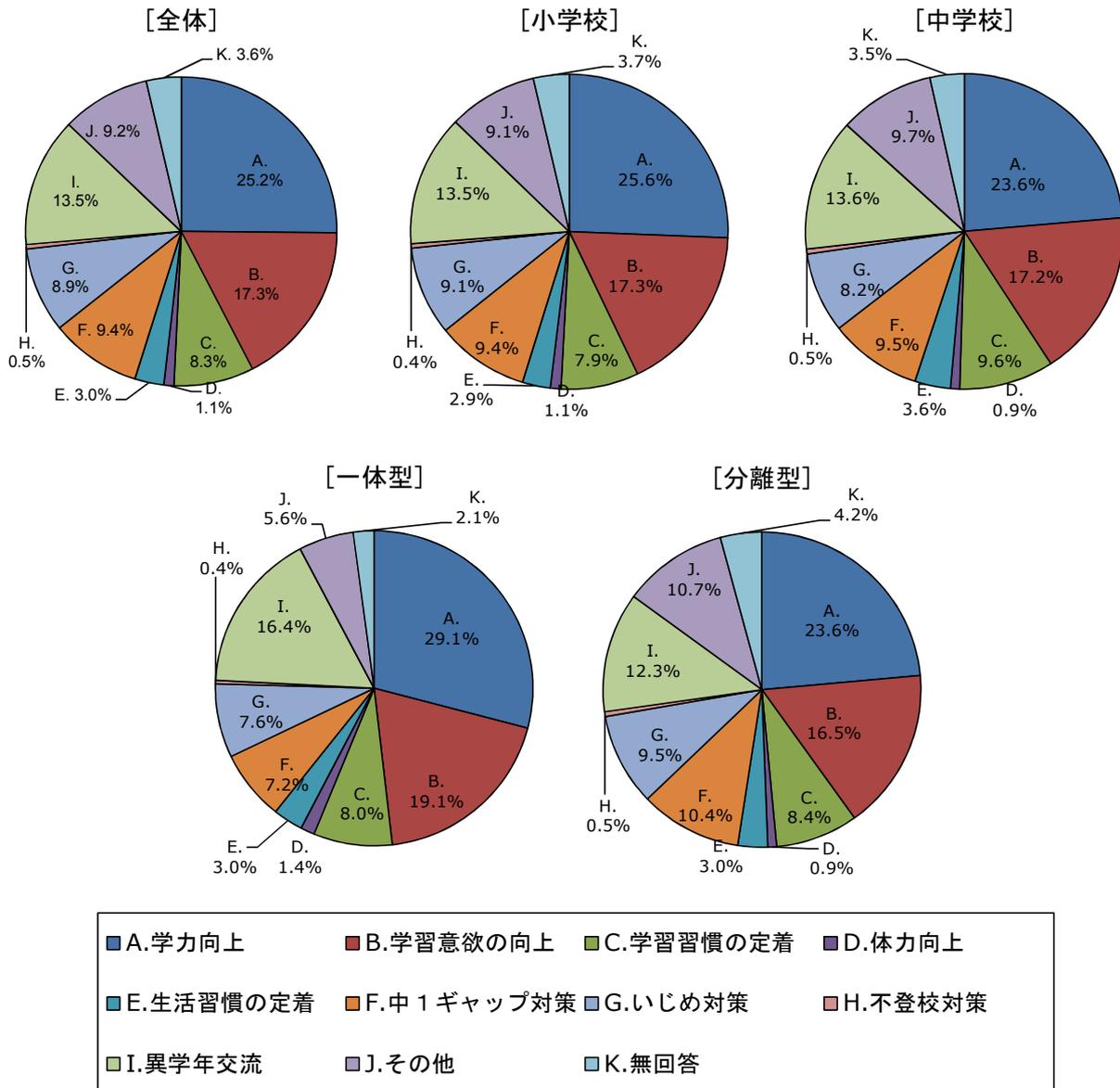
[D. 品川区の教育施策について]

設問34 品川は教育に力を入れていると思う。



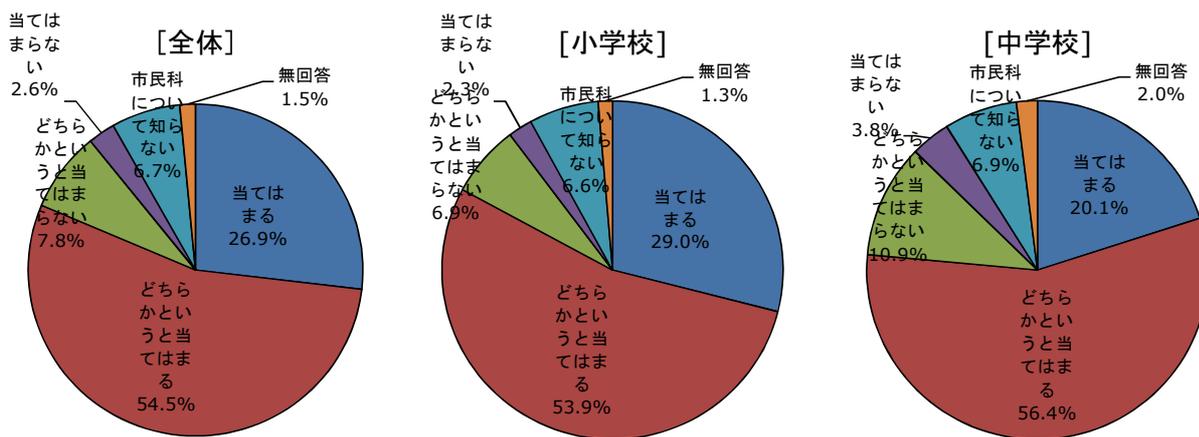
品川区は教育に力を入れていると感じている保護者は、小学校では90%以上、中学校では85%以上である。

設問35 小中一貫教育に最も期待するものは何ですか。



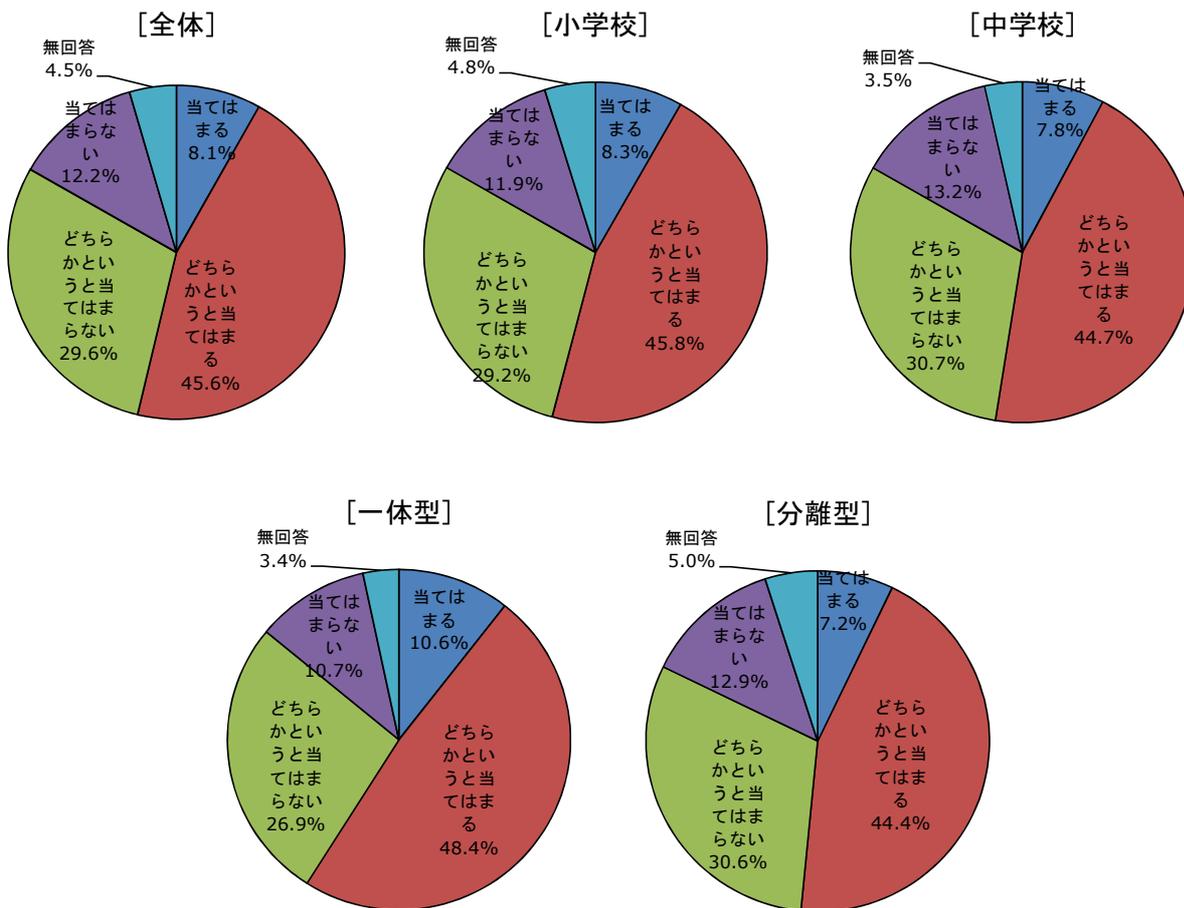
小中一貫教育に期待するもので一番多いのは、小学校・中学校、一体型・分離型ともに、「学力の向上」であり、次いで「学習意欲の向上」、「異学年交流」の順である。

設問36 区独自の市民科は、よい学習だと思う。



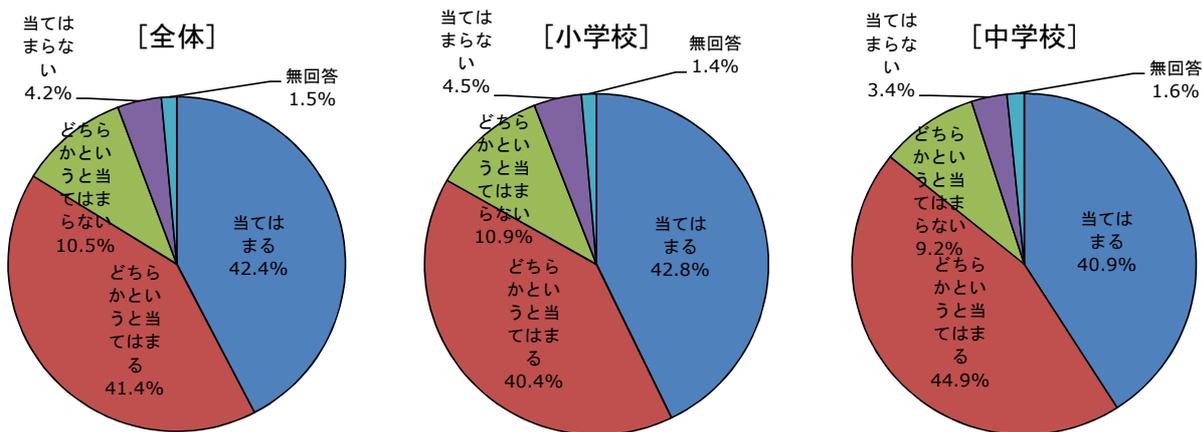
区独自の市民科をよい学習だと思っている保護者は、小学校では82.9%、中学校では76.5%である。

設問37 義務教育を4・3・2年のまとまりで考えることは、子どもの学びや発達段階に合っている。



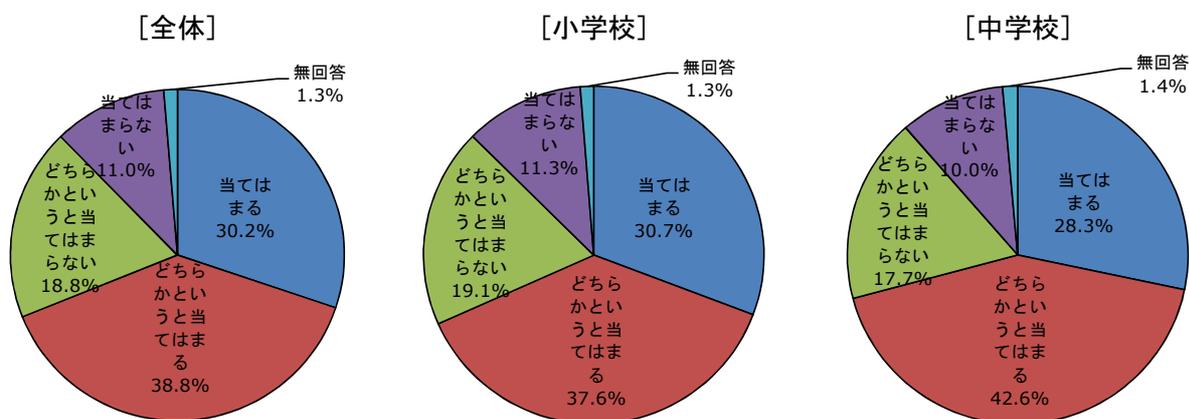
義務教育を4・3・2年のまとまりで考えることは、子どもの学びや発達段階に合っていると思っ
ている保護者は、小学校・中学校ともに50%強である。また、一体型の59.0%と比べると分離型
は51.6%と若干低くなっている。

設問38 他地区より授業時間を増やしていることは良いことだと思う。



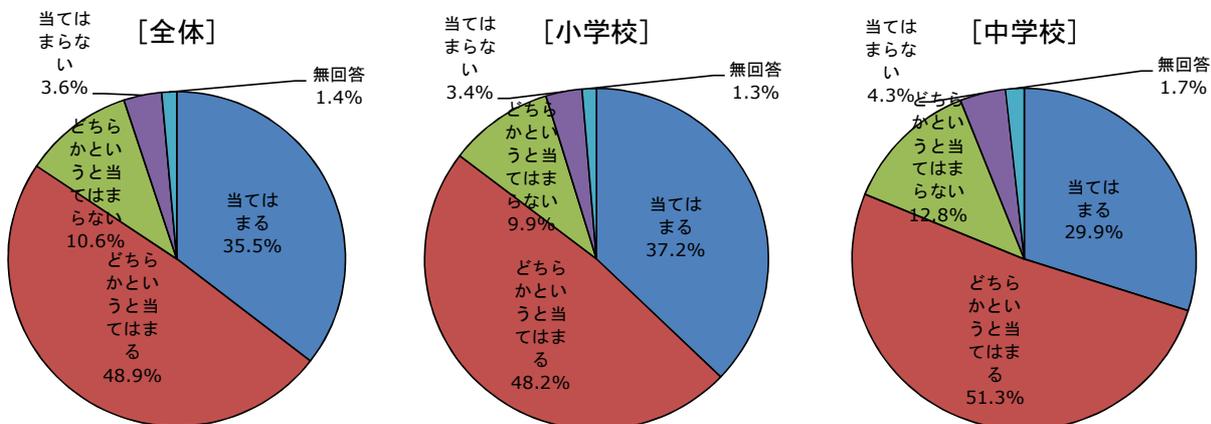
他地区より授業時間を増やしていることを良いことだと思っている保護者は、小学校・中学校ともに80%を超えている。

設問39 学校選択制は良い制度だと思う。



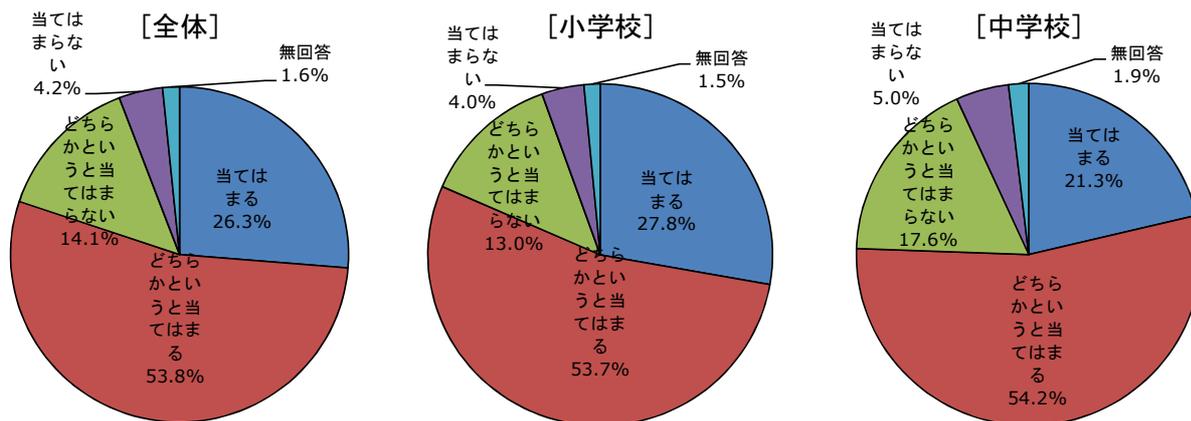
学校選択制をよい制度だと思っている保護者は、小学校では68.3%、中学校では70.9%である。

設問40 外部評価は学校の改善に有効であると思う。



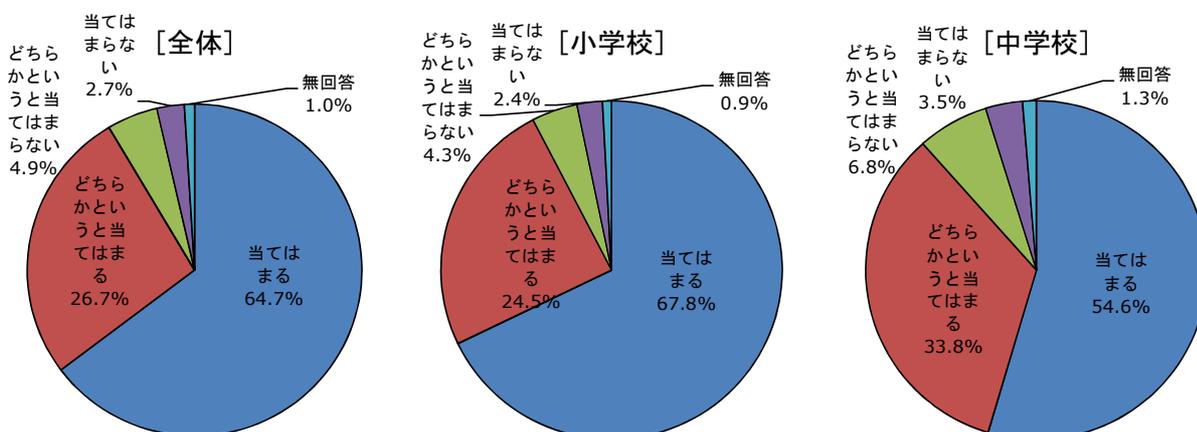
外部評価が学校の改善に有効であると思っている保護者は、小学校・中学校ともに80%を超えている。

設問41 区独自の学力定着度調査は子どもの学力向上に有効であると思う。



区独自の学力定着度調査は子どもの学力向上に有効であると思っている保護者は、小学校では81.5%、中学校では75.5%である。

設問42 低学年からの英語科教育は良い取組だと思う。



低学年からの英語科教育については、小学校では92.3%、中学校では88.4%の保護者が良い取組だと思っている。